

平成27年

鹿児島県の観光の動向
～鹿児島県観光統計～



平成28年10月



鹿児島県観光交流局観光課

目次

「鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～」の見方 P 3

■ 平成 27 年「鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～」(概要)

- 1 延べ宿泊者数・延べ日帰り客数 P 10
- 2 外国人延べ宿泊者数 P 10
- 3 観光消費額 P 11

■ 平成 27 年「鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～」(詳細)

- 1 宿泊者数
 - (1) 月別延べ宿泊者数 P 16
 - (2) 発地別県外延べ宿泊者数 P 17
 - (3) 交通機関別県外延べ宿泊者数 P 18
 - (4) 外国人延べ宿泊者数 P 19
- 2 地区別の動向
 - (1) 地区別延べ宿泊者数 P 21
 - (2) 地区別延べ日帰り客数 P 31
 - (3) 地区別延べ宿泊者数+地区別延べ日帰り客数 P 32
 - (4) 地区別外国人延べ宿泊者数 P 33

■ 参考資料

- 1 全国における宿泊者の動向
 - (1) 月別延べ宿泊者数(平成 27 年) P 36
 - (2) 都道府県別延べ宿泊者数(平成 27 年) P 36
 - (3) 都道府県別外国人延べ宿泊者数(平成 27 年) P 36
- 2 九州における宿泊者の動向
 - (1) 九州各県別延べ宿泊者数 P 37
 - (2) 九州各県別外国人延べ宿泊者数 P 38
- 3 鹿児島県観光動向調査
 - (1) 月別の宿泊客数 P 39
 - (2) 月別の主要観光施設・ドライブインの入場者数 P 39
 - (3) 旅行形態別延べ宿泊客数 P 40
 - (4) 月別旅行形態の動向 P 41
- 4 教育旅行の受入状況
 - (1) 鹿児島県全体の教育旅行の受入状況(推移) P 42
 - (2) 月別の教育旅行の受入状況(平成 26 年～27 年) P 42
 - (3) 県内地区別の教育旅行の受入状況(平成 26 年～27 年) P 43
 - (4) 学校種別の構成比(平成 27 年) P 43
- 5 スポーツ合宿の受入状況
 - (1) 鹿児島県全体のスポーツ合宿の受入状況(推移) P 44
 - (2) 県内地区別のスポーツ合宿の受入状況(平成 26 年度～27 年度) P 44
 - (3) 団体区分(カテゴリー)の状況 P 45
 - (4) 発地別の状況 P 45
 - (5) 交通手段の状況 P 46
 - (6) 競技種目の状況 P 46

6	コンベンションの開催状況	P 4 7
7	国際観光船受入状況	
(1)	全国におけるクルーズ船の寄港状況	P 4 8
(2)	鹿児島県におけるクルーズ船の寄港状況	P 4 9

鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～の見方

この「鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～」は、平成27年（1月～12月）1年間の宿泊者（延べ宿泊者数）、日帰り客（延べ日帰り客数）及び外国人宿泊者（外国人延べ宿泊者数）の動向等について、「宿泊旅行統計」（観光庁）※注1、「観光入込客統計」（観光庁）※注2、「鹿児島県観光動向調査」（鹿児島県）※注3の統計結果や、県内各市町村、関係機関等の御協力を得て実施した観光地点入込状況、交通機関利用状況等の調査をとりまとめたものである。

※ 注1 「宿泊旅行統計」（観光庁）

（1）調査の目的

宿泊旅行統計調査は、我が国の宿泊旅行の実態を全国規模で把握することを目的とする。

（2）調査の対象

日本国内において宿泊業を営む、ホテル、旅館、簡易宿所、会社、団体の宿泊所などの全宿泊施設である。

なお、事業所母集団データベース（総務省）をもとに観光庁で補正を加えた母集団名簿により調査を行った。

【鹿児島県内の対象施設数】※平成27年12月時点

鹿児島県内の対象施設数	1,315施設
従業員数10人以上の宿泊施設数	232施設
従業員数9人以下の宿泊施設数	1,083施設

（3）調査の時期

四半期毎

（4）抽出方法

調査対象施設の抽出については以下のとおり

- 従業者数10人以上の事業所：全数調査
- 従業者数5人～9人の事業所：1/3を無作為に抽出するサンプル調査
- 従業者数0人～4人の事業所：1/9を無作為に抽出するサンプル調査

（5）主な調査事項

- 各月の延べ・実宿泊者数及び外国人延べ・実宿泊者数
- 各月の延べ宿泊者数の居住地別内訳（県内、県外の別）
- 各月の外国人延べ宿泊者数の国籍別内訳

（6）調査の方法

調査は、観光庁から調査対象施設へ調査票を配布し、報告者（調査対象施設）が自ら調査票に記入し返送する方法で実施した。

また、調査の実施、審査・集計等については民間に委託して実施した。

(7) 結果の推定方法

調査の未回収分については、調査結果に施設所在地（47区分）×従業者数（5区分）の層ごとに母集団施設数に対する回収施設の逆数（母集団施設／回収施設数）を乗じて合算した。

なお、平成27年の調査を通じて1年間、標本の総和が1,000人泊（人）以上になる結果表セルにおいて50%以上のシェアを占める標本については、別途層を設け、乗率 $Nh/nh=1$ とした。

以上より、統計の推定値は次の式で表される。

$$G = \sum_h \frac{N_h}{n_h} \sum_i X_{hi}$$

G : 総計（延べ宿泊者数等）の推定値

X_{hi} : 第h層の第i番目の施設の調査結果（延べ宿泊者数等）

n_h : 第h層の標本（回収）施設数

N_h : 第h層の母集団施設数

また、各月ごと（※1月～3月期調査については四半期調査、平成27年4月以降毎月調査に変更となった）の調査結果を、平成28年1月1日時点で把握した平成27年中の調査対象施設の開業、廃業等施設数を反映させ、各月毎の調査対象施設数により、遡及して推計し直した。

(8) 用語の解説

「宿泊施設」

旅館業法に基づく営業許可を得ているホテル、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所などの施設をいう。

「従業者数」

従業者とは、当該宿泊施設で働いているすべての人をいう（実人員数）。派遣労働者、在籍出向など出向元に籍がありながら当該施設に来て働いている人、下請けとして他の会社など別経営の事業所から来て働いている人を含む。なお、宿泊施設以外の施設（遊園地、ゴルフ場、スキー場、プール等）を併設している場合で、会計上も宿泊施設営業と他の事業に分けている場合は宿泊施設営業に従事している人のみとした。

「延べ宿泊者数」

延べ宿泊者数とは、各月における宿泊者（寝具を使用して施設を利用するもの。子供や乳児を含む。）の延べ人数をいう。

「外国人延べ宿泊者数」

外国人延べ宿泊者数とは、各月における外国人（日本国内に住所を有しないもの）の宿泊者の延べ人数をいう。ただし、日本国内の住所の有無による回答が困難な施設は、日本の国籍を有しないものを外国人宿泊者として回答しても差し支えないこととした。

※ 注2 「観光入込客統計」(観光庁)

(1) 調査の目的

観光庁では、地域間で観光に関する現状や動向を全国的に比較できるようにしつつ、観光振興に資するため、平成21年12月に観光入込客に関する統一的な把握のための「共通基準」を策定した。

本県では、平成22年4月から当該基準を導入した調査を実施し、結果を観光庁に報告している。

(2) 調査の時期

四半期毎

(3) 調査体系

観光入込客統計は、以下に掲げる調査により、観光入込客数、観光消費額単価、観光消費額についての統計量を示すものである。

①観光地点等入込客数調査(全数調査)

県内の観光地点及び行祭事・イベントに訪れた人数を、観光地点の管理者、行祭事・イベントの実施者等に四半期ごとに報告を求め調査する。

②観光地点パラメータ調査(サンプル調査)

県内の観光地点を訪れた観光客を対象に、訪問地点数、観光消費額単価等について、四半期ごとに調査する。

③他の統計調査

上記①②を補完するため、国で承認された一般統計である宿泊旅行統計調査、旅行・観光消費動向調査等を活用する。

(4) 集計・公表する項目

- 観光地点を訪れた観光入込客数
- 観光地点を訪れた観光入込客一人当たりの平均消費額
- 観光地点を訪れた観光入込客の総消費額

(5) 用語の解説

「観光地点」

観光・ビジネスの目的を問わず、観光客を集客する力のある施設等を意味し、次に掲げる要件を全て満たすものを集計の対象としている。

- ① 非日常利用が多い(月1回以上の頻度で訪問する人数の割合が半分未満)と判断される地点
- ② 観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
- ③ 前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が5千人以上であること。

「観光入込客」

日常生活圏以外の場所へ旅行し、そこでの滞在が報酬を得ることを目的としない者。本基準では観光地点及び行祭事・イベントを訪れた者を観光入込客としている。

※ 注3 「鹿児島県観光動向調査」(鹿児島県)

(1) 調査の目的

本県では最新の観光客の動向を定期的に把握し、本県観光の誘致対策等に役立てるとともに、一般の各観光関係者のビジネスや効果的な事業展開等広く民間の活用に資するため、平成19年4月から県内の主要宿泊施設、観光施設等を対象として、宿泊の入込状況についてアンケート調査を実施している。

(2) 調査の時期

毎月

(3) 調査の対象

- ① ホテル・旅館 80施設
- ② 観光施設 17施設
- ③ ドライブイン 5施設

※平成27年12月時点回答施設数

(4) 調査方法及び留意事項

毎月、対象施設に調査票を送付し、調査結果を取りまとめている。
調査対象施設については、新たに建設されたものなどを追加している。

(5) 主な調査事項

〈宿泊施設〉

- 延べ宿泊客数(全宿泊客数、外国人宿泊客数)
- 宿泊形態(団体、個人旅行の別)
- 発地別宿泊客数 等

〈観光施設・ドライブイン〉

- 入場者、来場者数 等

(6) 「発地別県外延べ宿泊者数」の発地区分内訳

地区	該当都道府県等			
北海道	北海道			
東北	青森 秋田	岩手 山形	宮城	福島
関東	茨城 千葉	栃木 東京	群馬 神奈川	埼玉 山梨
北陸	新潟	福井	富山	石川
中部	静岡	愛知	岐阜	長野
関西	滋賀 兵庫	京都 三重	大阪 和歌山	奈良
中国	鳥取 山口	島根	岡山	広島
四国	徳島	香川	愛媛	高知
九州	福岡 大分	佐賀 宮崎	長崎	熊本
沖縄	沖縄			
国外	日本以外の全ての国			

1 地区別延べ宿泊者数の推定の方法

地区別の宿泊者数については、県が観光庁から宿泊旅行統計調査の調査票情報（鹿児島県内の宿泊施設分）の提供を受け、施設所在地区別に推定を行った。

「地区別延べ宿泊者数」等の施設所在地区別の内訳

地区名	該当市町村			
鹿児島地区	鹿児島市			
指宿地区	指宿市			
霧島地区	霧島市			
北薩地区	阿久根市 長島町	薩摩川内市	出水市	さつま町
大隅地区	鹿屋市 大崎町 肝付町	垂水市 東串良町	曾於市 錦江町	志布志市 南大隅町
種子島地区	西之表市	中種子町	南種子町	
屋久島地区	屋久島町			
奄美地区	奄美市 龍郷町 伊仙町	大和村 喜界町 和泊町	宇検村 徳之島町 知名町	瀬戸内町 天城町 与論町
その他地区	枕崎市 南九州市 三島村	日置市 伊佐市 十島村	いちき串木野市 始良市	南さつま市 湧水町

2 地区別延べ日帰り客数の推定の方法

地区別の日帰り客数については、県が観光庁に報告する調査票情報を用いて施設所在地区別に推定を行った。

※施設所在地区別の内訳については上表と同じ

3 日帰り客の延べ人数の推定の方法

日帰り客数について観光庁は、観光地点を訪れた観光入込客数（延べ人数）を平均訪問地点数で割った、観光入込客数（実人数）で公表しているが、本統計においては、平均訪問地点数で割る前の延べ人数を用いた。

※「延べ人数」と「実人数」の違い

「実人数」とは例えば、1人の観光入込客が県内の複数の観光地点を訪れたとしても、1人回分と数えることとなる。

「延べ人数」とは例えば、1人の観光入込客が県内の3つの観光地点を訪れたとしたら、3回分と数えることとなる。

4 発地別県外延べ宿泊者数について

発地別県外延べ宿泊者数については、「鹿児島県観光動向調査」のデータを用いた。

5 交通機関別県外延べ宿泊者数について

観光庁「宿泊旅行統計」の県外延べ宿泊者数をベースとして、鉄道、バス、航空、船舶事業者及び高速道路事業者の協力により得られたデータをもとに、県が交通機関別に推定を行った。

平成 27 年「鹿児島県の観光の動向～ 鹿児島県観光統計～」(概要)

平成27年「鹿児島県の観光の動向～鹿児島県観光統計～」の概要

- ・「延べ宿泊者数」は7,973千人で、前年比5.8%の増加
- ・「延べ日帰り客数」は14,202千人で、前年比6.5%の増加
- ・「延べ宿泊者数」と「延べ日帰り客数」の合計は22,175千人で、前年比6.3%の増加
- ・「外国人延べ宿泊者数」は415,730人で、前年比56.3%の増加
- ・「観光消費額」は2,837億円で、前年比8.0%の増加

1 延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】・延べ日帰り客数【出典：観光庁「観光入込客統計」】

■ 平成27年の鹿児島県内の宿泊施設の延べ宿泊者数は7,972,730人で、前年比5.8%の増加となった。これは、平成27年は、全国と同様に、鹿児島県でも外国人宿泊者の大幅な増加があったことや、平成27年は9月にシルバーウィークの大型連休があったこと、地方創生交付金を活用した「国民文化祭開催記念ーかごしまプレミアムお得旅」「海外直行便キャンペーン」等の施策効果があったことなどにより、全体として宿泊者が増加したと考えられる。

■ 平成27年の鹿児島県内の観光地点における観光目的の日帰り客数は14,202,000人で、前年比6.5%の増加となった。これは、九州新幹線の利用者数が高い水準を維持していることや、シルバーウィークでの入込客の増加、かごしま国民文化祭2015の参加・観覧客の増加、クルーズ船の入込客増加が要因と考えられる。

	平成27年		平成26年		前年比(増減率)	
	県外	県内	県外	県内	県外	県内
延べ宿泊者数 (1～12月分)	7,972,730		7,534,490		5.8%	
	5,492,400	2,345,180	5,280,060	2,155,620	4.0%	8.8%
延べ日帰り客数 (1～12月分)	14,202,000		13,332,000		6.5%	
	2,273,000	11,929,000	1,950,000	11,382,000	16.6%	4.8%
合計	22,174,730		20,866,490		6.3%	
	7,765,400	14,274,180	7,230,060	13,537,620	7.4%	5.4%

※居住地不詳を含むため、合計とは一致しない。

2 外国人延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】

■ 平成27年の鹿児島県内の宿泊施設の外国人延べ宿泊者数は415,730人であり、前年比56.3%の増加となった。

これは、昨年に引き続き好調に推移した台湾・韓国に加え、昨年就航した香港線の利用客が好調であること及び5月から週3便に増便になったこと、また中国の経済成長を背景とした中国からの宿泊者の増加が要因と考えられる。

外国人延べ宿泊者数	前年比 (増減率)
平成27年 415,730	56.3%
(平成26年) (266,000)	23.8%

※ 全宿泊施設が調査対象

国籍別外国人延べ宿泊者数 (構成比)	前年比 (増減率)
韓国 60,410 (16.2%)	23.5%
台湾 126,850 (34.0%)	28.9%
中国 50,300 (13.5%)	116.3%
香港 64,300 (17.2%)	124.4%
米国 9,640 (2.6%)	-0.7%
シンガポール 10,330 (2.8%)	60.9%
タイ 3,630 (1.0%)	29.2%
その他 47,780 (12.8%)	39.9%
合計 373,240	47.9%
(平成26年) (252,330)	

※ 従業者数10人以上の施設が調査対象

※ その他には国籍(出身地)不詳を含む

3 観光消費額【出典：観光庁「観光入込客統計」】

■ 鹿児島県への観光入込客の観光消費額は 283,679 百万円で、8.0%の増加となった。

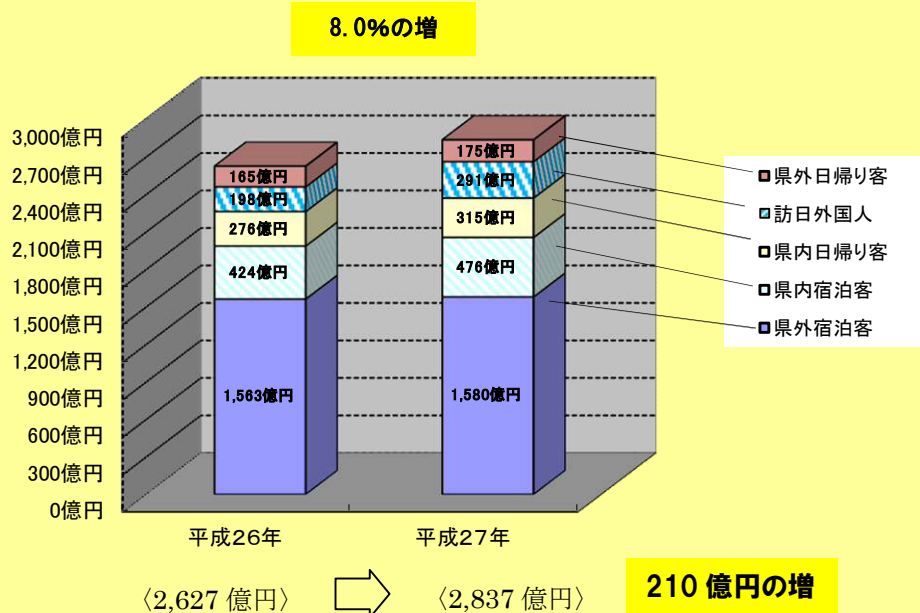
		平成27年		平成26年		前年比(増減率)	
日本人	宿泊	205,620		198,726		3.5%	
		県外	県内	県外	県内	県外	県内
	157,992	47,628	156,340	42,386	1.1%	12.4%	
	日帰り	48,926		44,120		10.9%	
県外		県内	県外	県内	県外	県内	
17,462	31,464	16,491	27,629	5.9%	13.9%		
訪日外国人		29,133		19,844		46.8%	
合計		283,679		262,690		8.0%	
		県外	県内	県外	県内	県外	県内
204,587	79,092	192,675	70,015	6.2%	13.0%		

		平成27年		平成26年	
日本人	宿泊	31,532		32,744	
		県外	県内	県外	県内
	37,183	20,963	38,451	21,161	
	日帰り	4,563		4,123	
県外		県内	県外	県内	
8,444	3,450	8,832	3,128		
訪日外国人		88,820		91,870	

- ※1 観光消費額単価は、旅行者が1回の旅行で使用した金額である。
 ※2 観光消費額単価については、鹿児島県内で消費した金額である。

※ 観光消費額は、実人数（単位：人回）を基に観光消費額単価を算出している。実人数については観光入込客統計の共通基準に則り、観光庁の宿泊旅行統計に推計を行い、算出している。

■ 観光消費額の前年との比較



○ 参考

1 延べ宿泊者数

(人)

	平成23年		前年比(増減率)	平成24年		前年比(増減率)	平成25年		前年比(増減率)	平成26年		前年比(増減率)	平成27年		前年比(増減率)
	県外	県内		県外	県内		県外	県内		県外	県内		県外	県内	
延べ宿泊者数	6,795,810		5.6%	6,870,930		1.1%	7,322,530		6.6%	7,534,490		2.9%	7,972,730		5.8%
	4,747,680	1,990,550		4,753,990	1,990,650		5,145,650	2,061,060		5,280,060	2,155,620		5,492,400	2,345,180	
延べ日帰り客数	13,691,000		2.8%	13,346,000		-2.5%	13,183,000		-1.2%	13,332,000		1.1%	14,202,000		6.5%
	2,754,000	10,937,000		3,342,000	10,004,000		1,821,000	11,362,000		1,950,000	11,382,000		2,273,000	11,929,000	
合計	20,486,810		3.8%	20,216,930		-1.3%	20,505,530		1.4%	20,866,490		1.8%	22,174,730		6.3%
	7,501,680	12,927,550		8,095,990	11,994,650		6,966,650	13,423,060		7,230,060	13,537,620		7,765,400	14,274,180	

(注)居住地不詳を含むため、合計とは一致しない。

2 外国人延べ宿泊者数

(人)

	平成23年		前年比(増減率)	平成24年		前年比(増減率)	平成25年		前年比(増減率)	平成26年		前年比(増減率)	平成27年		前年比(増減率)
	外国人延べ宿泊者数	92,890		-28.0%	170,570		83.6%	214,810		25.9%	266,000		23.8%	415,730	
外国人延べ宿泊者数	92,890	-28.0%	170,570	83.6%	214,810	25.9%	266,000	23.8%	415,730	56.3%					

(注)全宿泊施設が対象。

<国籍別外国人延べ宿泊者数>

(人)

	平成22年	平成23年		平成24年		平成25年		平成26年		平成27年	
			前年比(増減率)		前年比(増減率)		前年比(増減率)		前年比(増減率)		前年比(増減率)
韓国	60,620	35,520	-41.4%	45,370	27.7%	44,910	-1.0%	48,930	9.0%	60,410	23.5%
台湾	21,670	14,630	-32.5%	45,240	209.2%	75,470	66.8%	98,400	30.4%	126,850	28.9%
中国	8,220	6,890	-16.2%	10,820	57.0%	11,880	9.8%	23,250	95.7%	50,300	116.3%
香港	4,930	4,900	-0.6%	9,920	102.4%	11,810	19.1%	28,660	142.7%	64,300	124.4%
米国	7,360	4,070	-44.7%	6,170	51.6%	8,760	42.0%	9,710	10.8%	9,640	-0.7%
シンガポール	2,860	1,750	-38.8%	3,230	84.6%	4,750	47.1%	6,420	35.2%	10,330	60.9%
タイ	470	690	46.8%	980	42.0%	2,130	117.3%	2,810	31.9%	3,630	29.2%
その他	19,870	16,830	-15.3%	16,390	-2.6%	26,890	64.1%	34,150	27.0%	47,780	39.9%
合計	126,000	85,280	-32.3%	138,120	62.0%	186,600	35.1%	252,330	35.2%	373,240	47.9%

※従業者数10人以上の施設が調査対象

※その他には国籍(出身地)不詳を含む

3 観光消費額

(百万円)

		平成23年			平成24年			平成25年			平成26年			平成27年		
		前年比(増減率)		前年比(増減率)	前年比(増減率)		前年比(増減率)	前年比(増減率)		前年比(増減率)	前年比(増減率)		前年比(増減率)			
日本人	宿泊	178,336			80.2%	200,560		12.5%	191,796		-4.4%	198,726		3.6%	205,620	
		県外	県内	県外		県内	県外		県内	県外		県内	県外		県内	
		155,440	22,896	※		161,971	38,589		152,513	39,283		156,340	42,386		157,992	47,628
	日帰り	45,086		21.6%	38,130		-15.4%	39,223		2.9%	44,120		12.5%	48,926		10.9%
		県外	県内		県外	県内		県外	県内		県外	県内		県外	県内	
		19,680	25,406		※	17,575		20,555	14,057		25,166	16,419		27,629	17,462	
訪日外国人		4,681		-30.1%	14,112		201.5%	15,024		6.5%	19,844		32.1%	29,133		46.8%
合計	228,103		59.8%	252,802		10.8%	246,043		-2.7%	262,690		6.8%	283,679		8.0%	
	県外	県内		県外	県内		県外	県内		県外	県内		県外	県内		
	179,801	48,302		※	193,658		59,144	181,594		64,449	192,675		70,015	204,587		79,092

※平成22年と平成23年の比較について

平成22年度の数値と平成23年の数値を比較(観光庁「観光入込客統計」は平成22年4月から開始されており、平成22年3月以前の数値はないため)。

平成 27 年「鹿児島県の観光の動向～ 鹿児島県観光統計～」(詳細)

1 宿泊者数

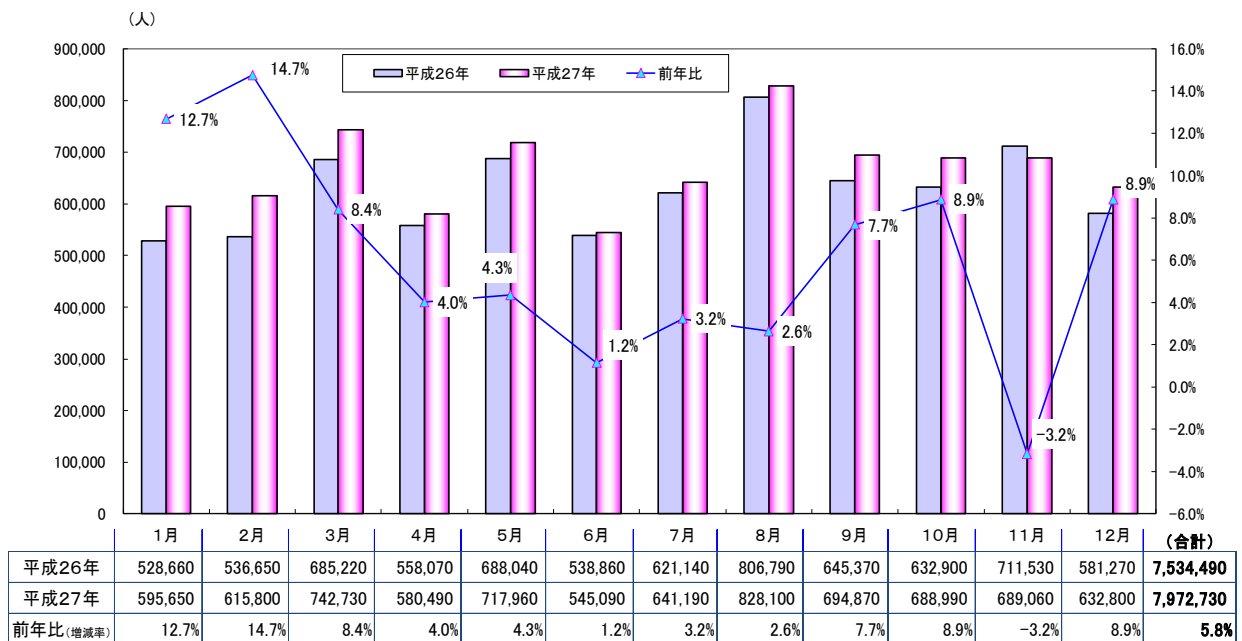
(1) 月別延べ宿泊者数 【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】

月別延べ宿泊者数は、11月以外の全ての月で前年を上回り、年間を通しては前年比5.8%の増加となった。

	平成27年			平成26年		
	県外	県内	合計	県外	県内	合計
1月	396,430	188,380	595,650	356,790	167,850	528,660
2月	434,240	170,550	615,800	380,750	152,500	536,650
3月	532,320	197,120	742,730	496,020	178,130	685,220
4月	416,500	163,340	580,490	398,090	155,410	558,070
5月	507,450	201,390	717,960	487,960	194,270	688,040
6月	366,010	160,130	545,090	379,230	154,680	538,860
7月	422,400	212,650	641,190	418,270	193,430	621,140
8月	544,890	269,590	828,100	550,630	243,580	806,790
9月	478,350	205,030	694,870	456,920	180,940	645,370
10月	489,850	190,290	688,990	451,280	169,350	632,900
11月	484,500	192,440	689,060	506,540	191,940	711,530
12月	419,470	194,280	632,800	397,570	173,550	581,270
合計	5,492,400	2,345,180	7,972,730	5,280,060	2,155,620	7,534,490
前年比(増減率)	4.0%	8.8%	5.8%			

※ 延べ宿泊者数は四捨五入をしているため、各月の合計値と総数とは一致しない場合がある。

※ 合計は居住地不詳を含むため、県外・県内の合算値とは一致しない。

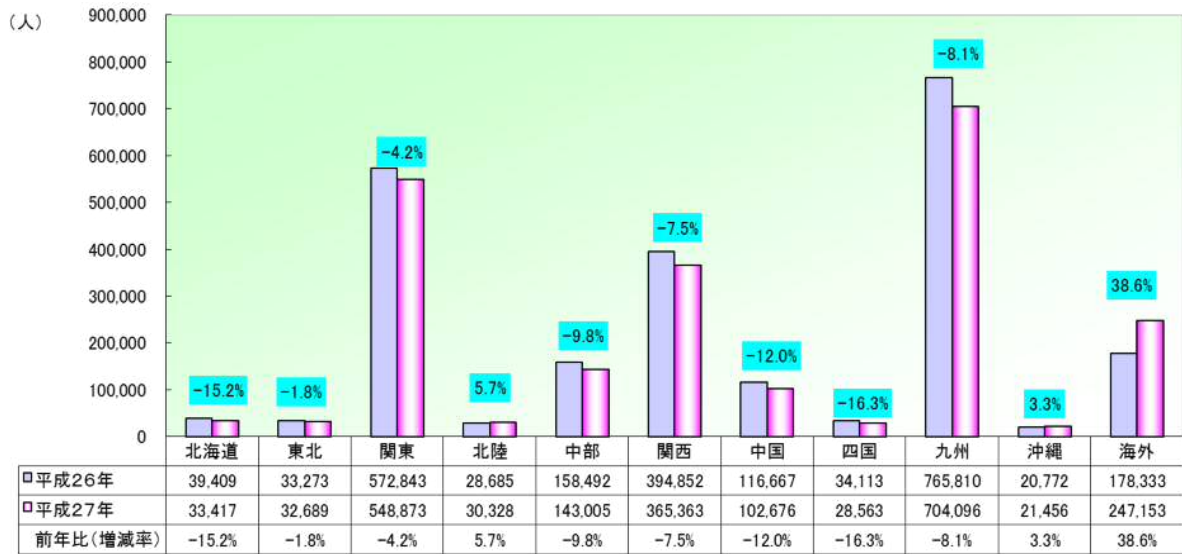


1 宿泊者数

(2) 発地別県外延べ宿泊者数 【出典：「鹿児島県観光動向調査」】

県外からの宿泊者を発地別で前年と比較すると、香港線の利用客の堅調な増加や台湾・中国からの宿泊者の増加等により国外からの宿泊者は38.6%増加した。

また、発地別構成比をみると、九州地区（31.2%）、関東地区（24.3%）、関西地区（16.2%）の順となっており、この3地区で全体の7割以上（71.7%）を占めている。

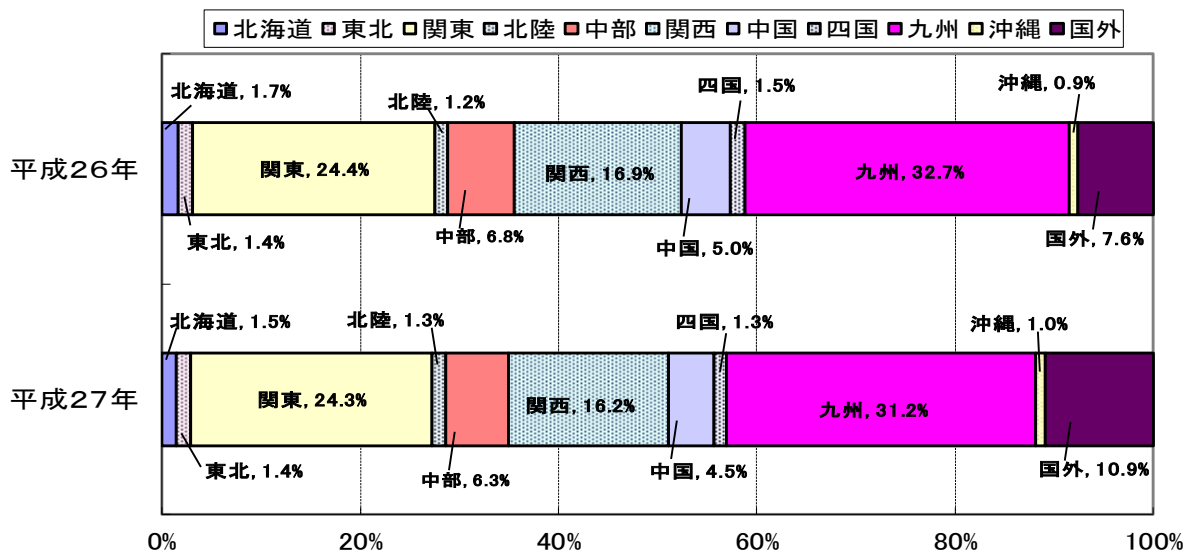


※ 県内主要宿泊施設が調査対象であり、宿泊旅行統計とは調査手法が異なる。

※ 九州は鹿児島県を除く6県の合計

※ 平成26年の数値は、平成27年のサンプル施設数とベースを合わせているため、「平成26年鹿児島県観光統計」で公表した数値とは異なる。

■ 発地別県外延べ宿泊者数の構成比

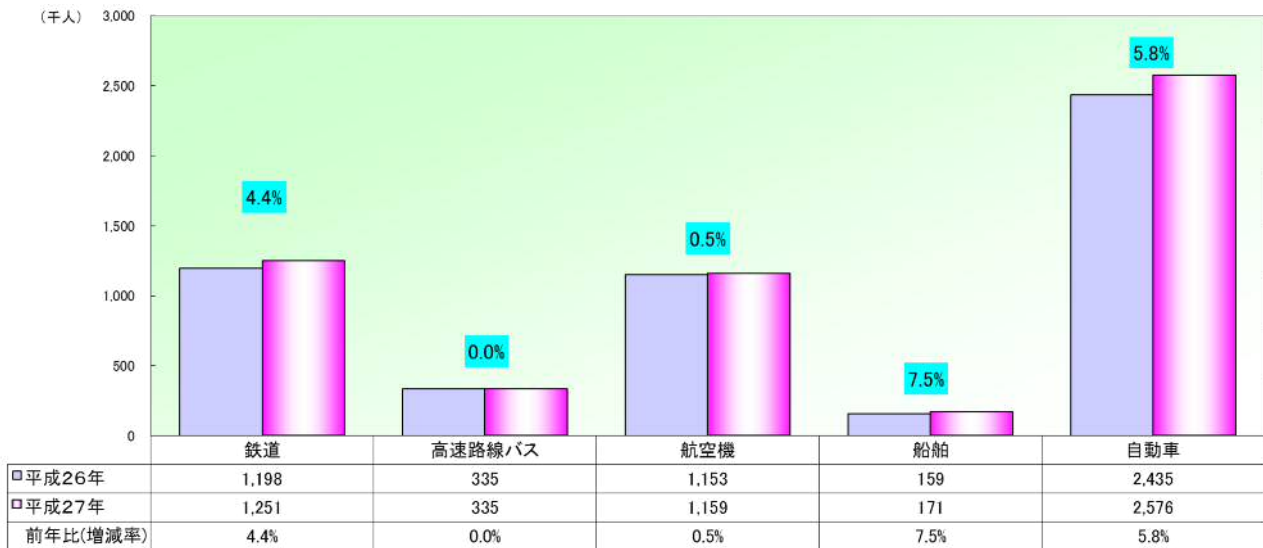


1 宿泊者数

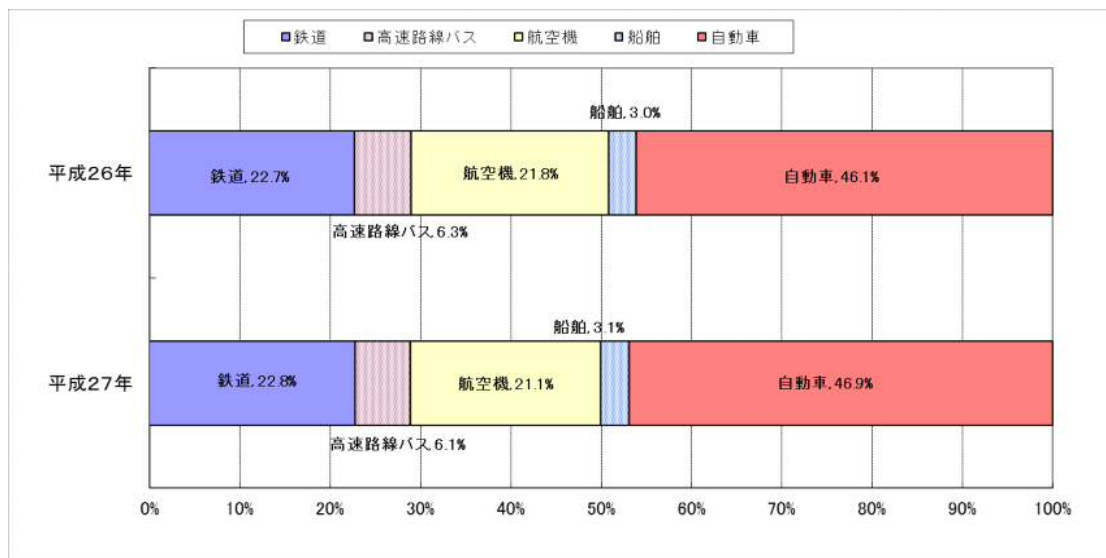
(3) 交通機関別県外延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」及び県独自調査】

船舶を利用した宿泊者数が前年比 7.5%の増加であり、全交通機関中最も高い伸びであった。次いで自動車が増加率 5.8%、鉄道が前年比 4.4%の増加となった。

また、交通機関別構成比で見ると、自動車によるものが 46.9%と全体の約 5 割を占め、鉄道が 22.8%、航空機が 21.1%の順となっている。



■ 交通機関別県外延べ宿泊者数の構成比



1 宿泊者数

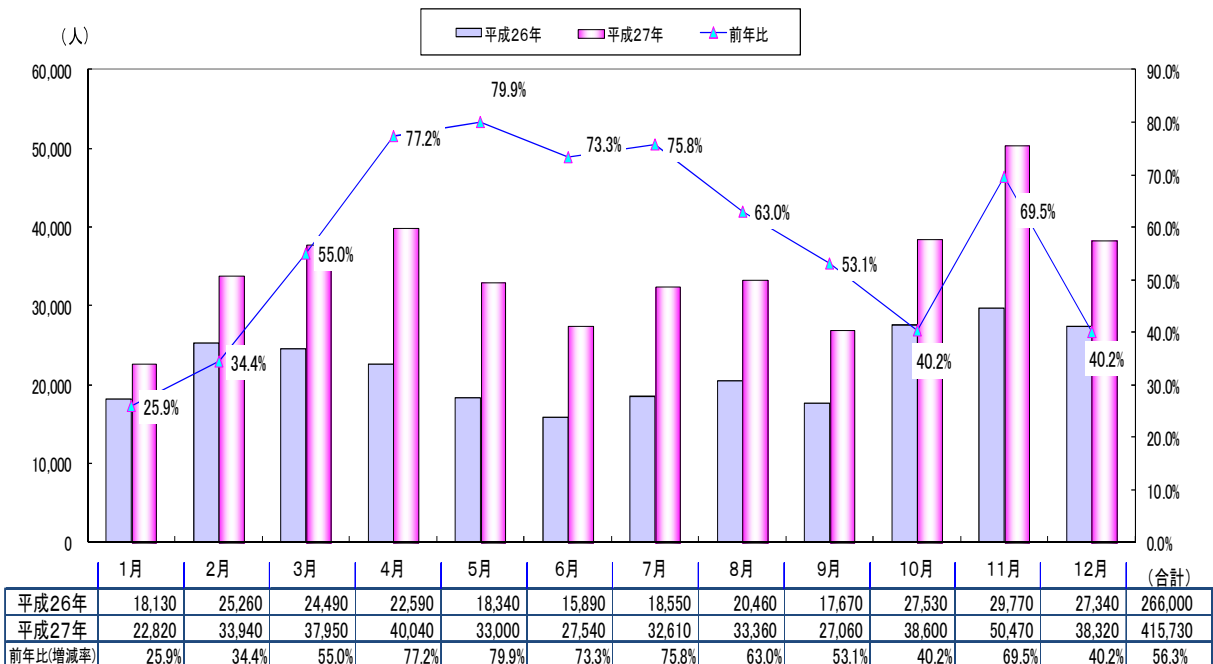
(4) 外国人延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】

平成 27 年の鹿児島県内の宿泊施設の外国人延べ宿泊者数は、前年比 56.3%増の 415,730 人と過去最高を記録した。

国籍別の構成比では、台湾からの宿泊者が 34.0%と最も多く、次いで香港 17.2%、韓国 16.2%の順となっている。

- ・台湾については、前年比 28.9%の増加となった。台北線を利用した団体ツアー客を中心として、宿泊者が堅調に増加している。
- ・香港については、前年比 124.4%と大幅な増加となった。これは平成 26 年に就航した香港線が好調であり、また平成 27 年 5 月 12 日より週 2 便から週 3 便に増便となった効果もあり、宿泊者が増加したものである。
- ・中国については、前年比 116.3%と大幅な増加となった。これは、平成 27 年は中国の経済成長が著しく、円安等の背景も相まって、訪日旅行需要が拡大した影響が主な要因と考えられる。
- ・韓国については、直行便を利用した団体ツアーに加え、10 月末からの釜山チャーター運行や冬期ゴルフ客需要の拡大が要因となり、前年比 23.5%の増加となった。

■ 月別外国人延べ宿泊者数

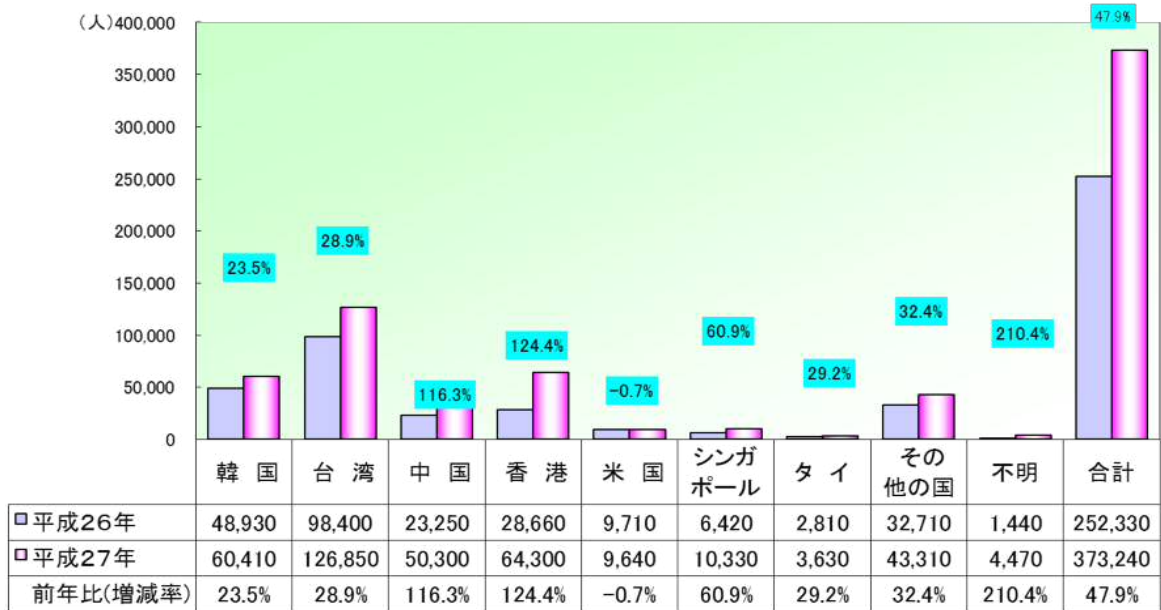


※ 従業員数 9 人以下の宿泊施設の宿泊者数も含む

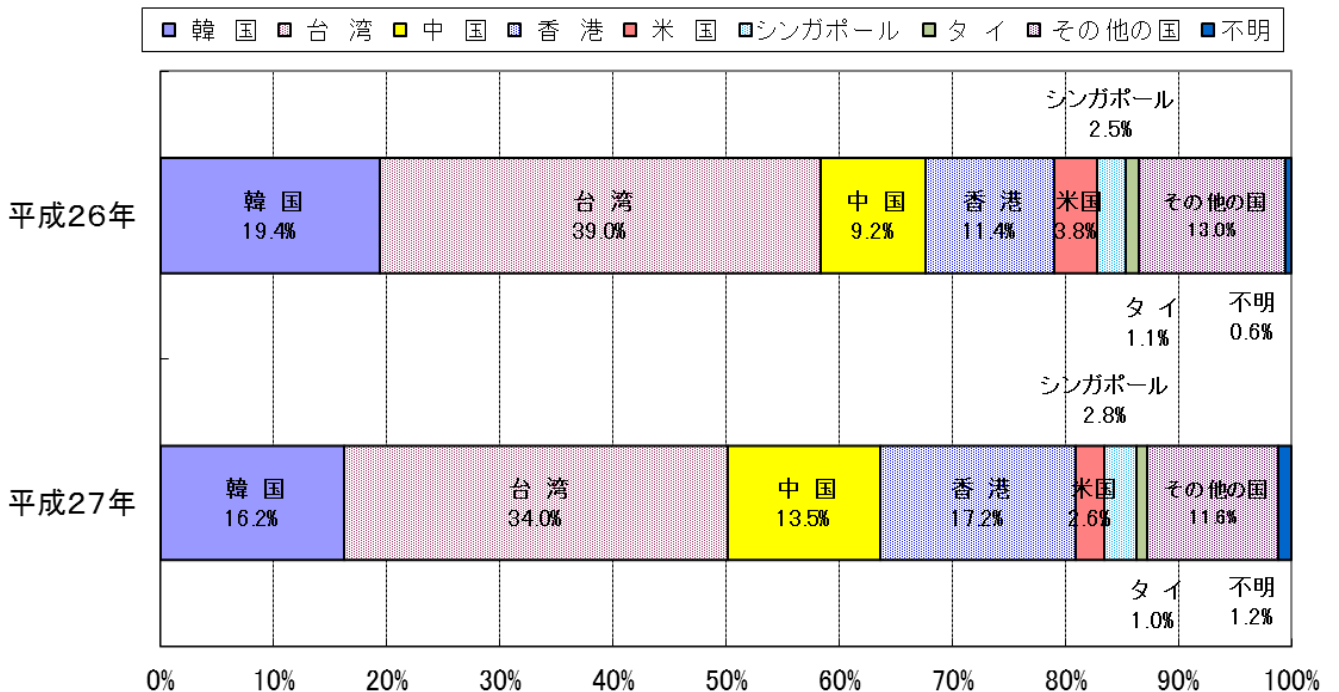
1 宿泊者数

■ 国籍別外国人延べ宿泊者数

※ 従業者数 10 人以上の宿泊施設の宿泊者数



■ 国籍別外国人延べ宿泊者数の構成比 (※従業者数 10 人以上の宿泊施設の宿泊者数)



2 地区別の動向

(1) 地区別延べ宿泊者数 【出典：観光庁「宿泊旅行統計」を用いて県で推定】

平成27年の延べ宿泊者数は、鹿児島地区、北薩地区、大隅地区、種子島地区、奄美地区、その他地区で前年を上回った。

また、地区別構成比は、鹿児島地区が38.0%と最も高く、次いで霧島地区が14.9%となっている。

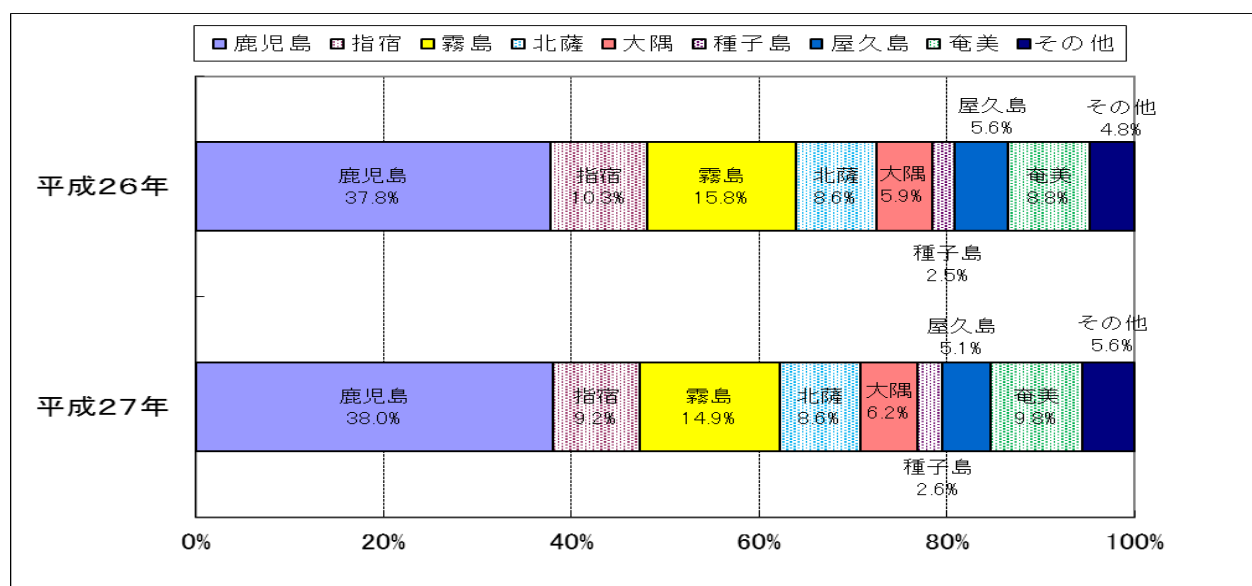
(人)

	鹿児島	指宿	霧島	北薩	大隅
平成26年	2,849,536	772,964	1,189,847	651,277	442,236
平成27年	3,032,170	735,079	1,187,886	684,400	493,498
前年比(増減率)	6.4%	-4.9%	-0.2%	5.1%	11.6%

	種子島	屋久島	奄美	その他	計
平成26年	185,610	423,933	659,366	359,731	7,534,490
平成27年	209,605	403,545	778,992	447,556	7,972,730
前年比(増減率)	12.9%	-4.8%	18.1%	24.4%	5.8%

※延べ宿泊者数は観光庁「宿泊旅行統計」を元に推計しているため、各地区の合計値と総数が一致しない場合がある（観光庁「宿泊旅行統計」の延べ宿泊者数は一の位を四捨五入しているため）。

■ 地区別延べ宿泊者数の構成比



2 地区別の動向

■ 鹿児島地区の延べ宿泊者数の動向

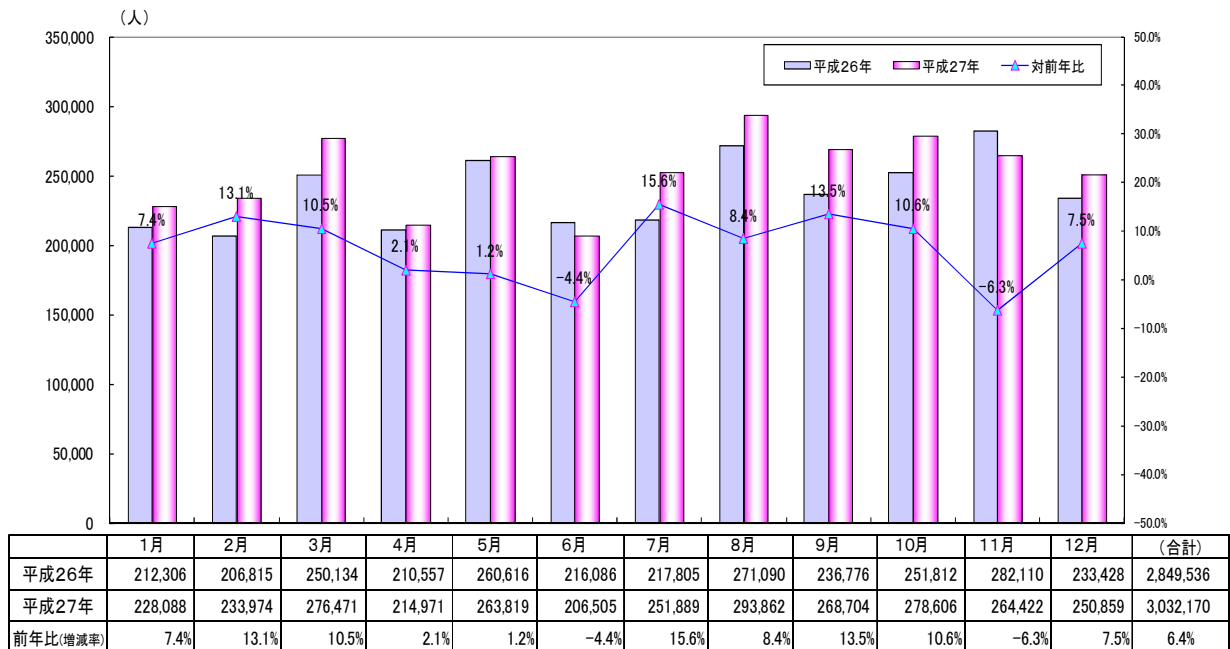
鹿児島地区の延べ宿泊者数は前年比 6.4%増加し、前年と比べて約 18 万人の増加となった。

かごしまプレミアムお得旅による旅行者の増加や、外国人客の大幅な増加に加え、九州新幹線の利用状況が依然高い水準を保っていることなどの要因により、宿泊客が増加したことなどが要因と考えられる。

鹿児島地区	平成27年		平成26年		前年比(増減率)	
	延べ宿泊者数	3,032,170		2,849,536		6.4%
1~12月分	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	2,167,525	805,508	2,048,565	761,489	5.8%	5.8%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【鹿児島地区の月別延べ宿泊者数】



2 地区別の動向

■ 指宿地区の延べ宿泊者数の動向

指宿地区の延べ宿泊者数は前年と比べ約3万7千人の減少となり、前年比4.9%減少した。

外国人宿泊客は堅調に増加したものの、5月の口永良部島噴火や8月の桜島の噴火警戒レベル一時引き上げの影響で団体ツアーや教育旅行がキャンセルになったことが影響した。

指宿地区	平成27年		平成26年		前年比(増減率)	
	延べ宿泊者数	735,079		772,964		-4.9%
1～12月分	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	591,440	122,813	626,408	132,958	-5.6%	-7.6%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【指宿地区の月別延べ宿泊者数】



2 地区別の動向

■ 霧島地区の延べ宿泊者数の動向

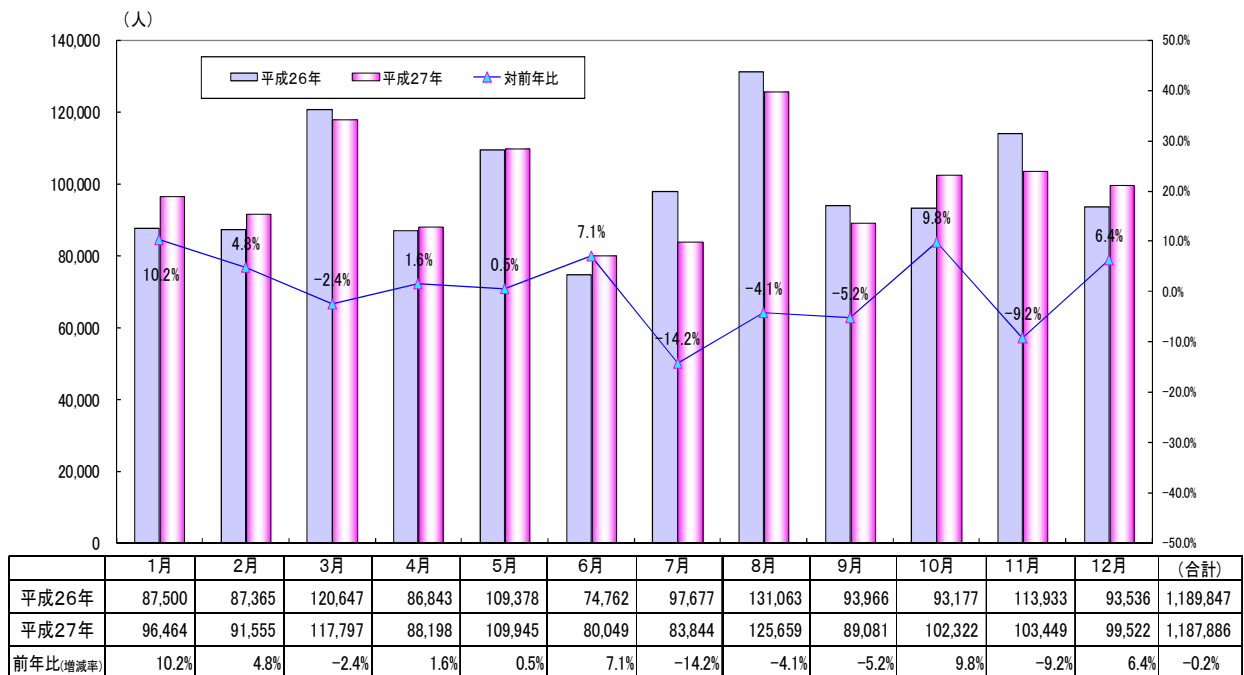
霧島地区の延べ宿泊者数は、前年比 0.2%減少し、前年と比べ約 2,000 人の減少となった。

外国人宿泊客は堅調に増加したものの、5月の口永良部島の噴火や8月の桜島の噴火警戒レベルの一時引き上げによる宿泊客のキャンセルが発生した影響で微減となった。

霧島地区	平成27年		平成26年		前年比(増減率)	
	延べ宿泊者数	1,187,886		1,189,847		-0.2%
1～12月分	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	845,116	319,999	865,528	307,419	-2.4%	4.1%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【霧島地区の月別延べ宿泊者数】



2 地区別の動向

■ 北薩地区の延べ宿泊者数の動向

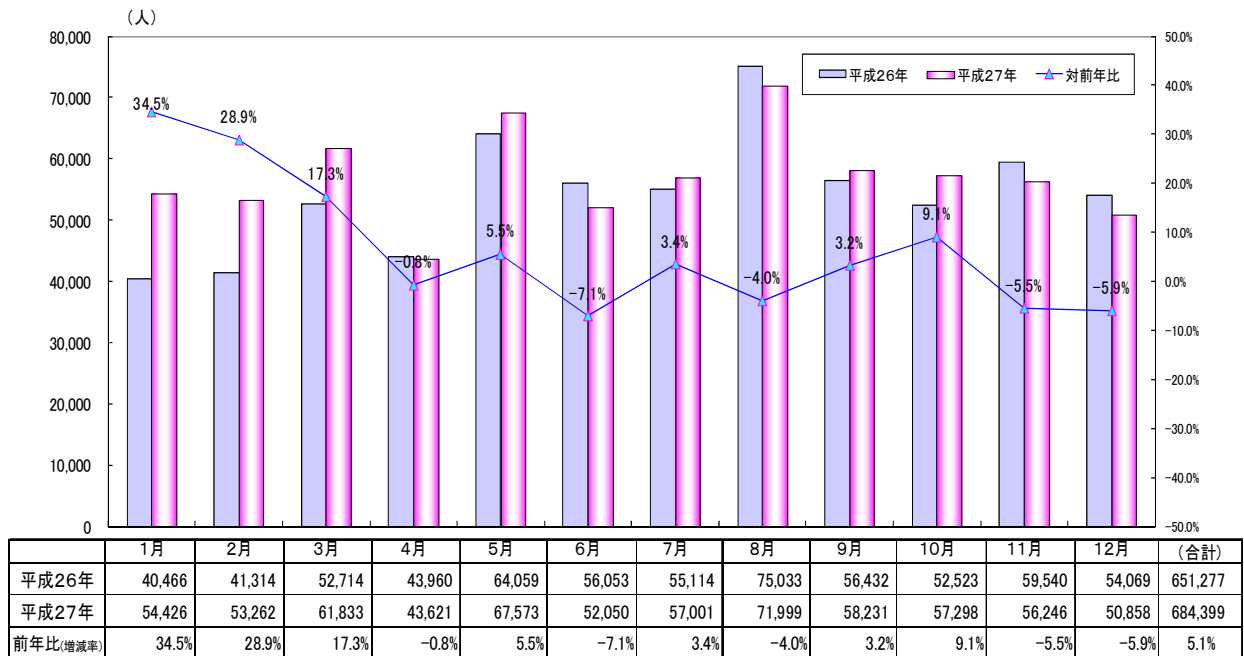
北薩地区の延べ宿泊者数は、前年比 5.1%の増加となり、前年と比べ約3万3千人の増加となった。

これは、3月に国定公園に指定された甌島への観光客の増加や、九州新幹線を利用したビジネス客の増加が要因と考えられる。

北薩地区	平成27年		平成26年		前年比(増減率)	
	延べ宿泊者数	684,400		651,277		5.1%
1～12月分	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	433,424	243,116	405,739	239,065	6.8%	1.7%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【北薩地区の月別延べ宿泊者数】



2 地区別の動向

■ 大隅地区の延べ宿泊者数の動向

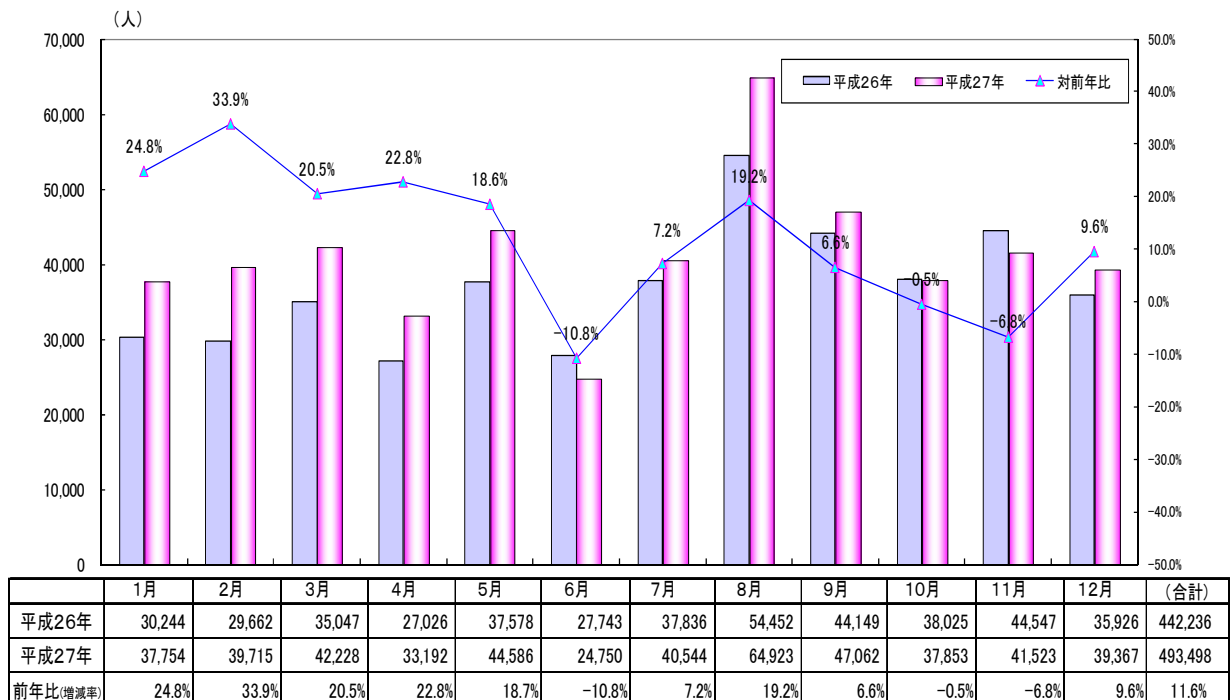
大隅地区の延べ宿泊者数は、前年比 11.6%の増加となり、前年に比べ約 5 万人の増加となった。

これは、スポーツキャンプ・合宿が増加したことや、かごしまプレミアムお得旅による前年にはないまとまった集客が一部ホテルであったことが増加の要因と考えられる。

大隅地区	平成27年		平成26年		前年比 (増減率)	
	延べ宿泊者数	493,498		442,236		11.6%
1～12月分	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	294,514	195,089	274,631	163,245	7.2%	19.5%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【大隅地区の月別延べ宿泊者数】



2 地区別の動向

■ 種子島地区の延べ宿泊者数の動向

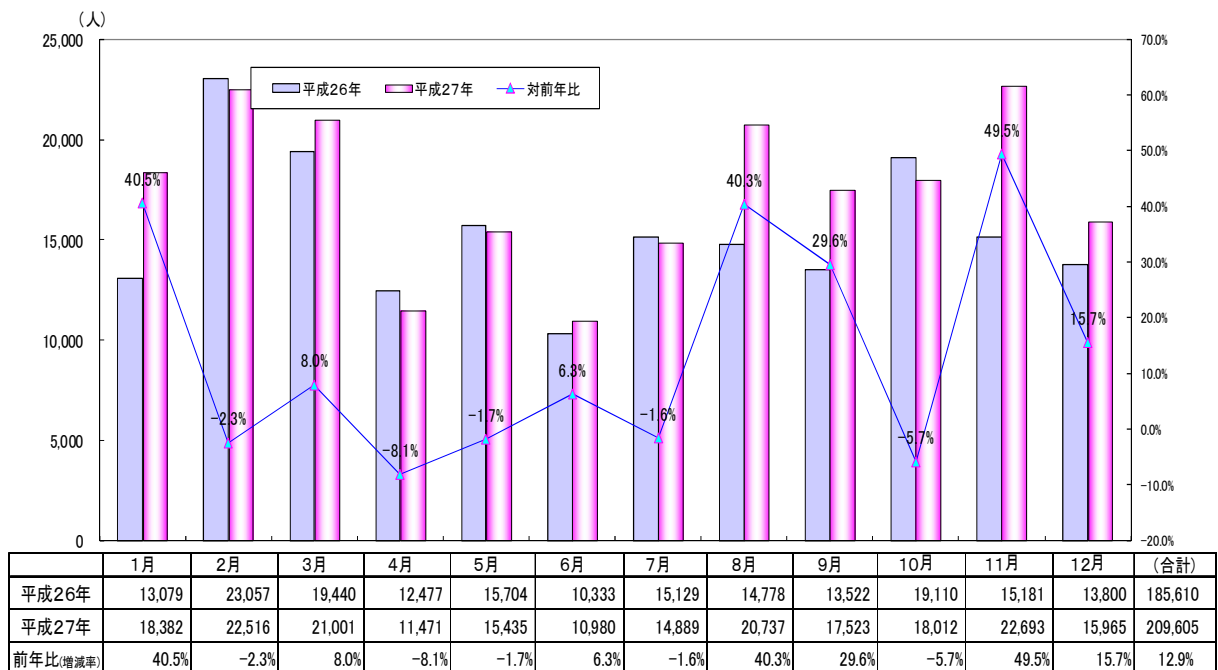
種子島地区の延べ宿泊者数は前年比 12.9%の増加となり、前年と比べて約 2 万人の増加となった。

これは、計 2 回のロケットの打ち上げに伴う関係者と見物客の宿泊の増加やプレミアムお得旅事業の効果等が考えられる。

種子島地区	平成27年		平成26年		前年比 (増減率)	
	延べ宿泊者数	209,605		185,610		12.9%
1～12月分	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	109,809	99,645	94,864	89,749	15.8%	11.0%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【種子島地区の月別延べ宿泊者数】



2 地区別の動向

■ 屋久島地区の延べ宿泊者数の動向

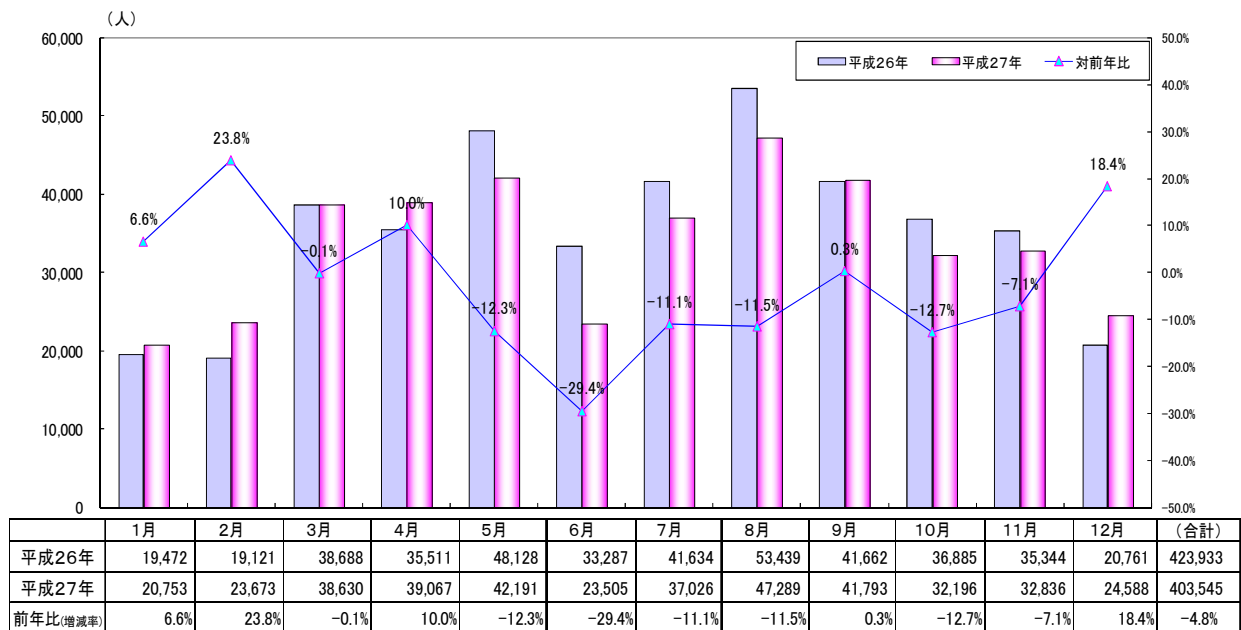
屋久島地区の延べ宿泊者数は、前年比4.8%の減少となり、前年と比べ約2万人の減少となった。

これは、5月に口永良部島が噴火した影響により、団体ツアーや教育旅行のキャンセルが発生したことが減少の要因である。

屋久島地区	(人)				前年比(増減率)	
	平成27年		平成26年			
延べ宿泊者数	403,545		423,933		-4.8%	
1～12月分	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	352,497	36,880	360,840	54,930	-2.3%	-32.9%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【屋久島地区の月別延べ宿泊者数】



2 地区別の動向

■ 奄美地区の延べ宿泊者数の動向

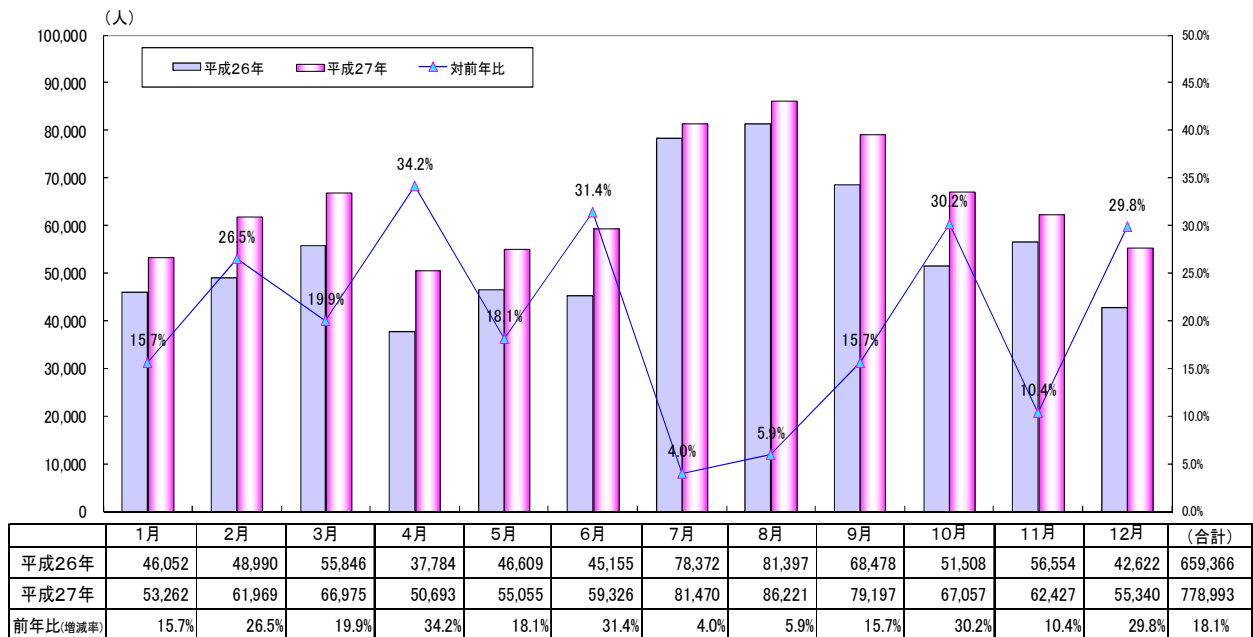
奄美地区の延べ宿泊者数は、前年比 18.1%の増加となり、前年に比べ約 12 万人の増加となった。

これは、LCC（バニラ・エア）が高い利用水準であることや、かごしまプレミアムお得旅による集客、また奄美群島が一部メディアで取り上げられたことによる認知度の増加などが要因である。

奄美地区	平成27年		平成26年		前年比(増減率)	
	延べ宿泊者数	778,992		659,366		18.1%
1～12月分	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	429,611	346,703	365,295	289,374	17.6%	19.8%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【奄美地区の月別延べ宿泊者数】



2 地区別の動向

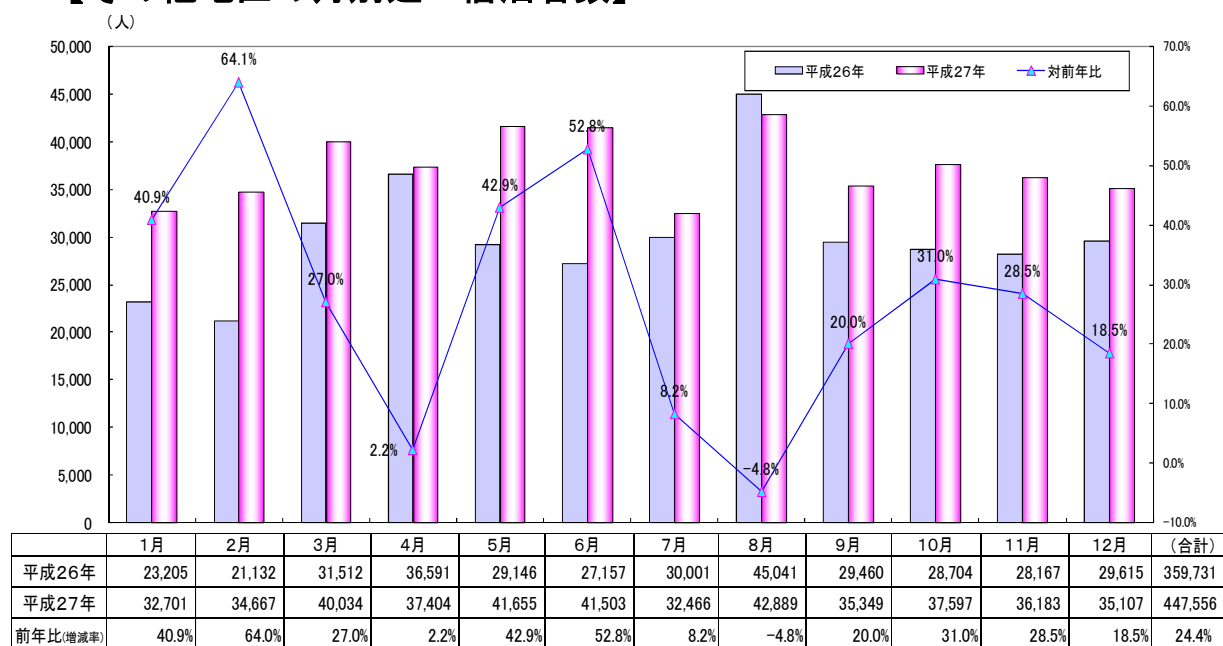
■ その他地区の延べ宿泊者数の動向

その他地区の延べ宿泊者数は、前年比 24.4%の増加となった。

その他地区	平成27年		平成26年		前年比(増減率)	
	延べ宿泊者数	447,556		359,731		24.4%
1～12月分	県外	県内	県外	県内	県外	県内
	268,463	175,427	238,190	117,390	12.7%	49.4%

※延べ宿泊者数には、居住地不明者を含む

【その他地区の月別延べ宿泊者数】



2 地区別の動向

(2) 地区別延べ日帰り客数 【出典：観光庁「観光入込客統計」を用いて県で推定】

平成27年の延べ日帰り客数は、屋久島地区を除いた各地区で前年を上回り、全体で前年を6.5%上回った。

地区別構成比は、鹿児島地区が26.3%と全体の約3割を占め、次いで霧島地区が18.7%と全体の約2割となっている。

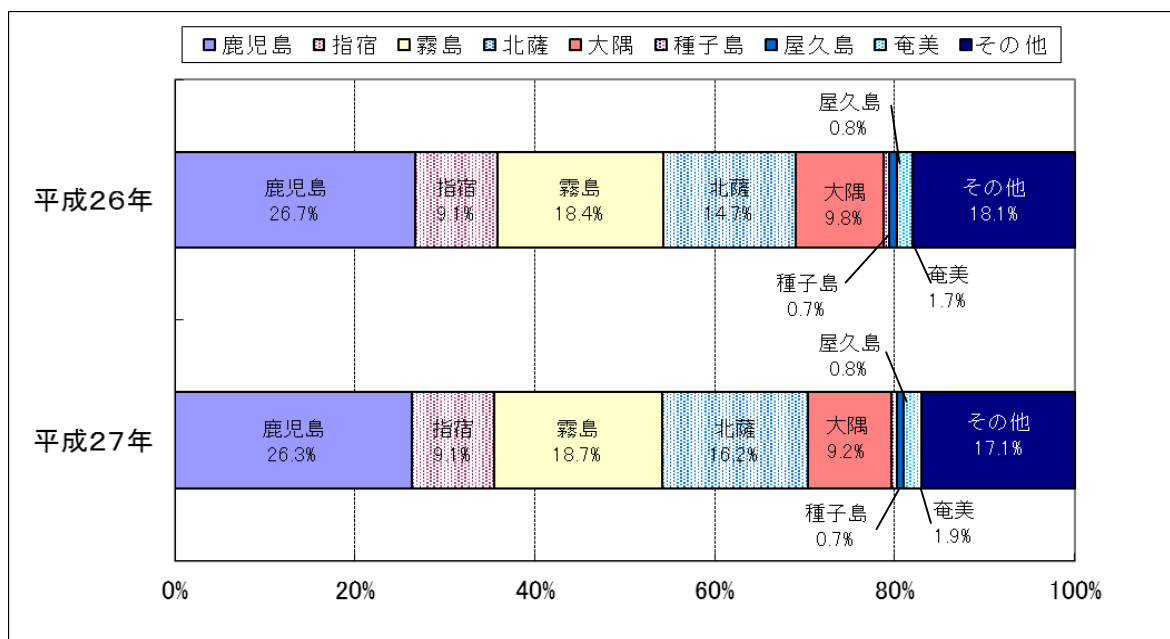
(人)

	鹿児島	指宿	霧島	北薩	大隅
平成26年	3,561,201	1,219,433	2,449,449	1,964,593	1,301,766
平成27年	3,740,336	1,297,734	2,660,200	2,297,082	1,309,391
前年比(増減率)	5.0%	6.4%	8.6%	16.9%	0.6%

	種子島	屋久島	奄美	その他	計
平成26年	90,583	109,374	229,082	2,406,520	13,332,000
平成27年	98,523	108,166	267,237	2,423,330	14,202,000
前年比(増減率)	8.8%	-1.1%	16.7%	0.7%	6.5%

※平成27年と平成26年の観光地点数を同一にしているため、「平成26年鹿児島県観光統計」で公表した数値とは異なる。

■ 地区別延べ日帰り客数の構成比



2 地区別の動向

(3) 地区別延べ宿泊者数＋地区別延べ日帰り客数

平成27年の地区別延べ宿泊者数と地区別延べ日帰り客数の合算値は、屋久島地区以外が前年を上回り、全体として前年比6.3%の増加となった。

また、地区別構成比は、鹿児島地区が30.5%と全体の3割を占め、次いで霧島地区が17.4%となっている。

(人)

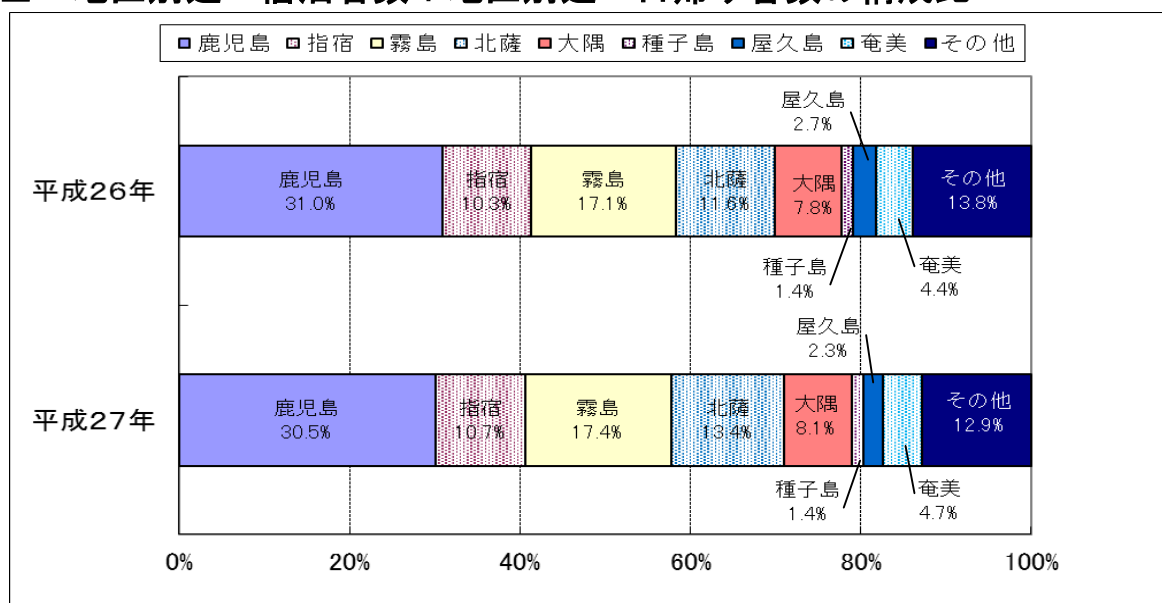
	鹿児島	指宿	霧島	北薩	大隅
平成26年	6,410,737	1,992,397	3,639,296	2,615,870	1,744,002
平成27年	6,772,507	2,032,813	3,848,086	2,981,483	1,802,890
前年比(増減率)	5.6%	2.0%	5.7%	14.0%	3.4%

	種子島	屋久島	奄美	その他	計
平成26年	276,193	533,307	888,448	2,766,251	20,866,490
平成27年	308,128	511,712	1,046,229	2,870,886	22,174,730
前年比(増減率)	11.6%	-4.0%	17.8%	3.8%	6.3%

※1 延べ宿泊者数は観光庁「宿泊旅行統計」を元に推計しているため、各地区の合計値と総数が一致しない場合がある(観光庁「宿泊旅行統計」の延べ宿泊者数は一の位を四捨五入している)。

※2 延べ日帰り客数は、平成27年と平成26年の観光地点数を同一にしているため、「平成25年鹿児島県観光統計」で公表した数値とは異なる。

■ 地区別延べ宿泊者数＋地区別延べ日帰り客数の構成比



2 地区別の動向

(4) 地区別外国人延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」を用いて県で推定】

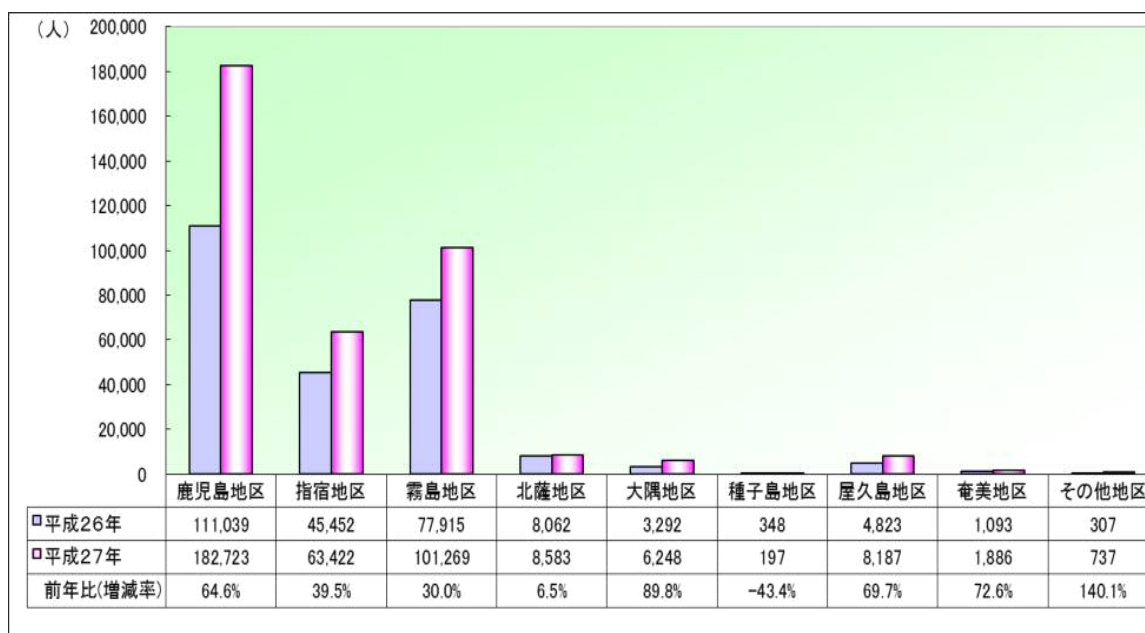
平成27年の地区別外国人延べ宿泊者数は、種子島地区以外が前年を大きく上回る結果となり、全体として前年比47.9%の増加となった。

(人)

	鹿児島	指宿	霧島	北薩	大隅
平成26年	111,039	45,452	77,915	8,062	3,292
平成27年	182,723	63,422	101,269	8,583	6,248
前年比(増減率)	64.6%	39.5%	30.0%	6.5%	89.8%

	種子島	屋久島	奄美	その他	計
平成26年	348	4,823	1,093	307	252,330
平成27年	197	8,187	1,886	737	373,240
前年比(増減率)	-43.4%	69.7%	72.6%	140.1%	47.9%

※従業者数10人以上の宿泊施設の宿泊者数で比較

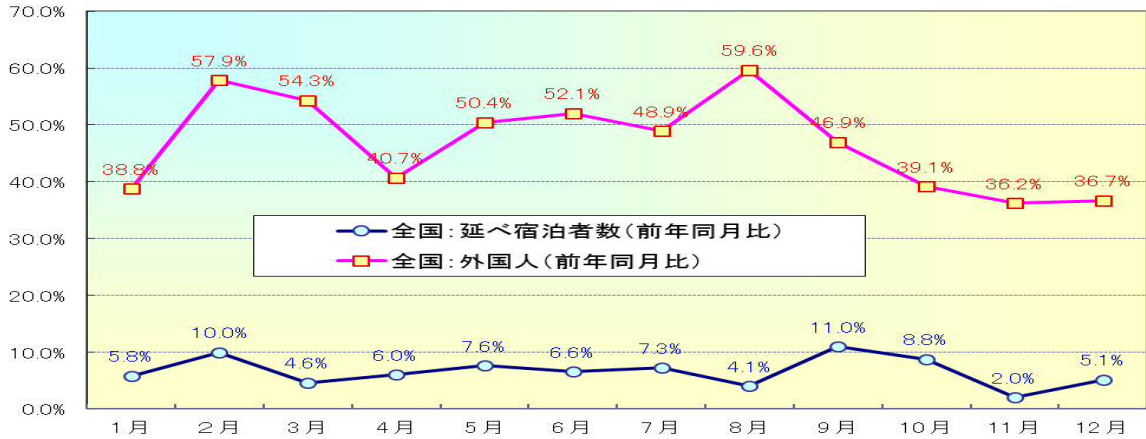


※従業者数10人以上の宿泊施設の宿泊者数を用いて作図

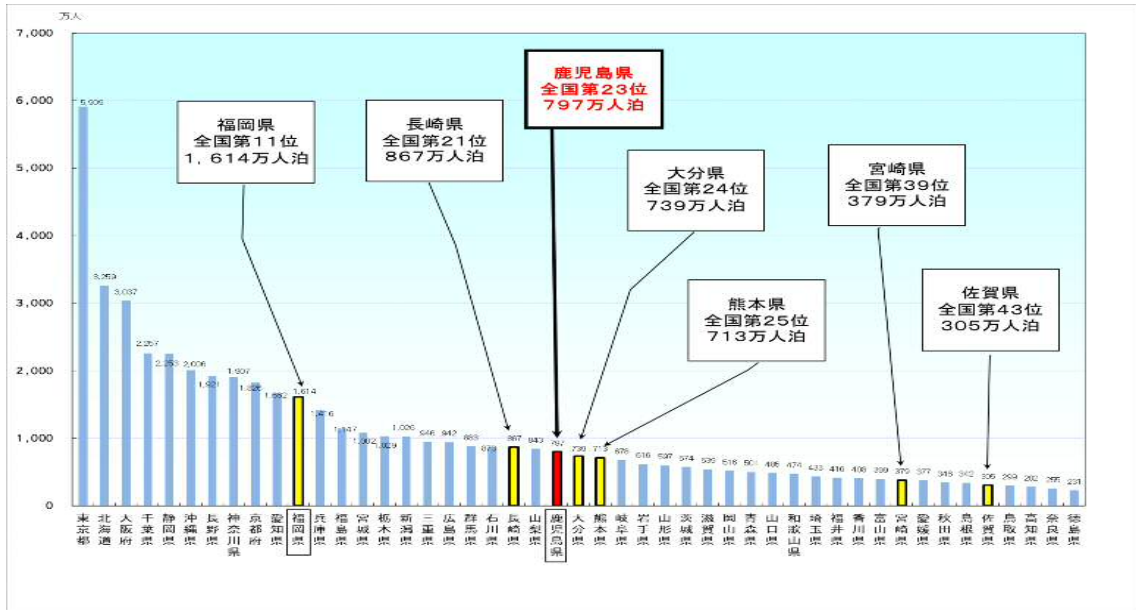
參考資料

1 全国における宿泊者の動向【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】

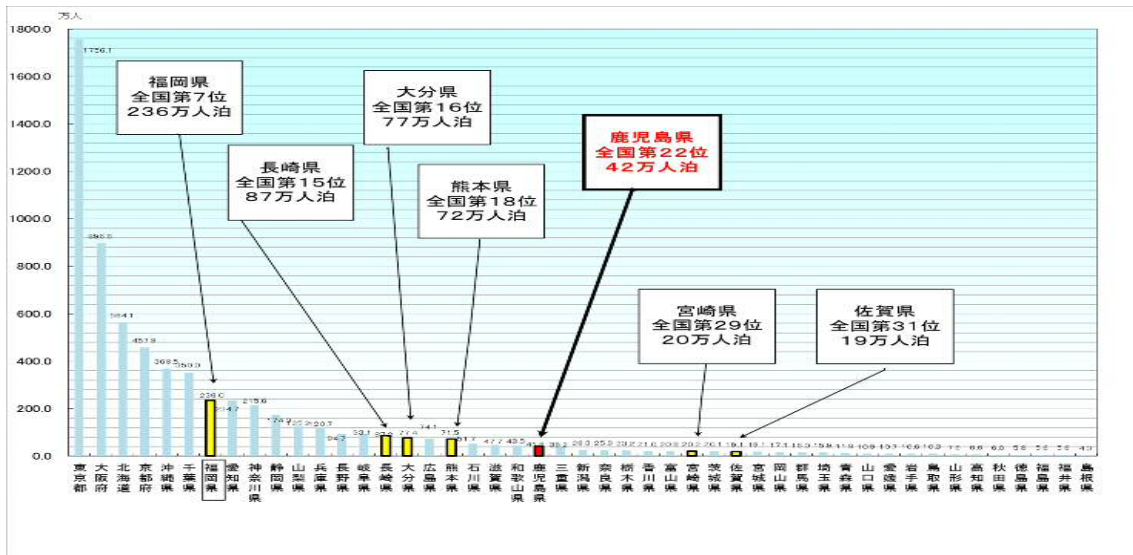
(1) 月別延べ宿泊者数(平成27年)



(2) 都道府県別延べ宿泊者数(平成27年)

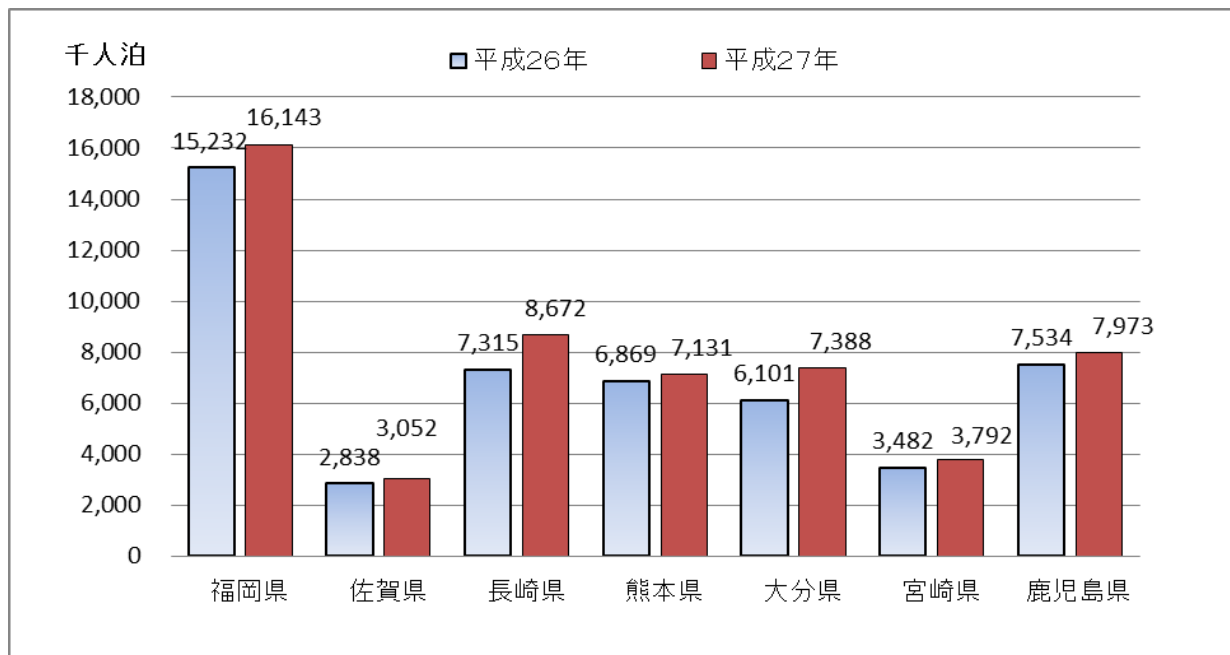


(3) 都道府県別外国人延べ宿泊者数(平成27年)



2 九州における宿泊者の動向

(1) 九州各県別延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】

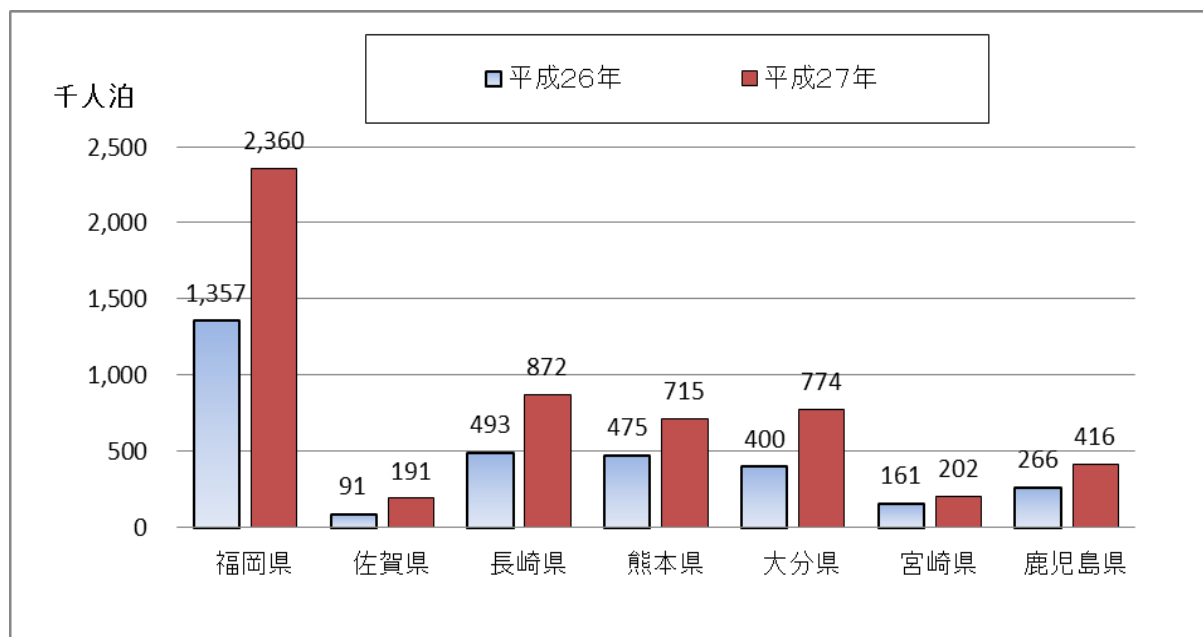


	平成26年	平成27年	順位		前年比 増減率
			全国順位	九州順位	
福岡県	15,232,160	16,143,170	11位	1位	6.0%
佐賀県	2,837,990	3,052,190	43位	7位	7.5%
長崎県	7,315,020	8,672,440	21位	2位	18.6%
熊本県	6,869,150	7,130,540	25位	5位	3.8%
大分県	6,101,170	7,388,270	24位	4位	21.1%
宮崎県	3,481,860	3,792,000	39位	6位	8.9%
鹿児島県	7,534,490	7,972,730	23位	3位	5.8%
九州計	49,371,850	54,151,330			9.7%
全国	473,501,950	504,078,370			6.5%

※従業員数9人以下の宿泊施設を含む全宿泊施設の年間の宿泊者数

2 九州における宿泊旅行者の動向

(2) 九州各県別外国人延べ宿泊者数【出典：観光庁「宿泊旅行統計」】



単位：人泊

	平成26年	平成27年	順位		前年比 増減率
			全国順位	九州順位	
福岡県	1,357,300	2,359,700	7位	1位	73.9%
佐賀県	90,940	191,120	31位	7位	110.2%
長崎県	492,510	872,190	15位	2位	77.1%
熊本県	475,400	714,720	18位	4位	50.3%
大分県	400,400	773,990	16位	3位	93.3%
宮崎県	161,020	201,880	29位	6位	25.4%
鹿児島県	266,000	415,730	22位	5位	56.3%
九州計	3,243,580	5,529,320			70.5%
全国	44,824,600	65,614,600			46.4%

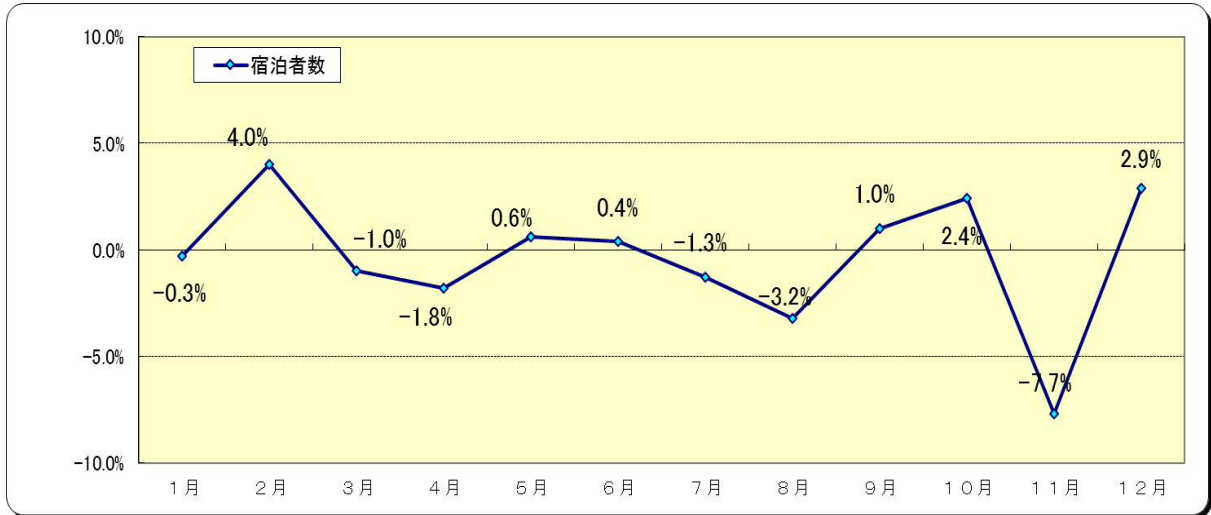
※従業員数9人以下の宿泊施設を含む全宿泊施設の年間の宿泊者数

3 鹿児島県観光動向調査

(1) 月別の宿泊客数

平成27年上半期の宿泊者数は前年同月を下回って推移し、宿泊者数は平均0.3%増加した。

平成27年下半期の宿泊者数は前年同月に比べ平均1.3%の減少となった。

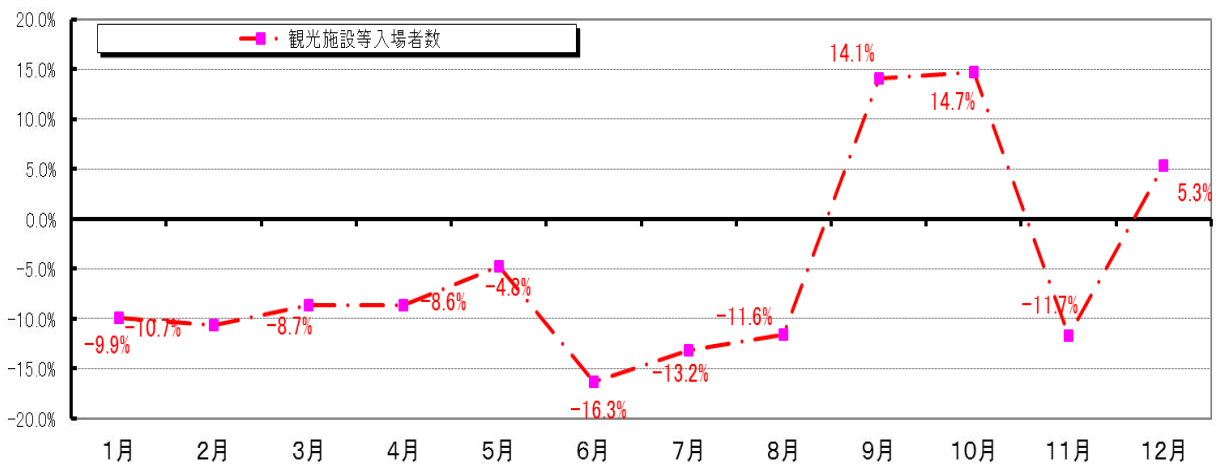


単位:人

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成26年	240,289	248,567	327,964	259,811	306,688	231,199	249,680	339,252	268,706	279,875	324,217	261,027	3,337,275
平成27年	239,593	258,447	324,745	255,103	308,652	232,132	246,493	328,552	271,424	286,592	299,406	268,721	3,319,860

(2) 月別の主要観光施設・ドライブインの入場者数

県内の主要観光施設・ドライブインの入場者数を前年と比較すると、5.7%の減少となった。



単位:人

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成26年	883,660	410,521	607,843	503,400	769,477	367,439	376,151	676,754	481,154	436,690	617,412	386,891	6,517,392
平成27年	795,912	366,785	554,927	459,992	732,160	307,602	326,537	597,956	549,054	501,033	545,449	407,585	6,144,992

3 鹿児島県観光動向調査

(3) 旅行形態別延べ宿泊客数

宿泊客を形態別にみると、個人客数は前年と比較すると0.8%減少し、団体客数は1.6%の減少となった。

《平成26年》 (単位: 人, %)

	宿泊客数	構成比
合計	2,852,667	
個人客(含む家族・小グループ)	2,133,041	(74.8)
団体客(15名以上)	719,626	
一般団体・企画商品	596,798	(20.9)
大会	44,146	(1.5)
教育旅行	78,682	(2.8)

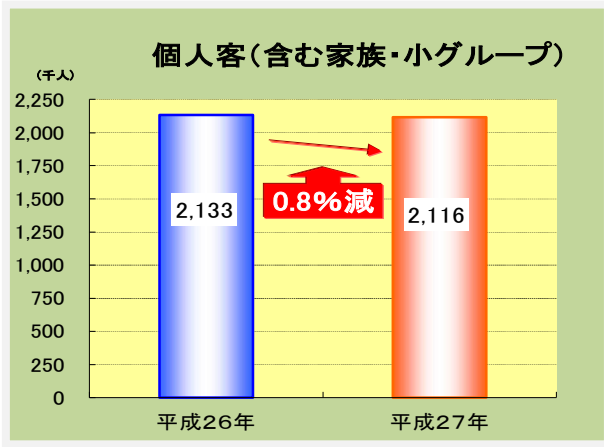
注: 調査対象のうち回答があった施設の集計

《平成27年》 (単位: 人, %)

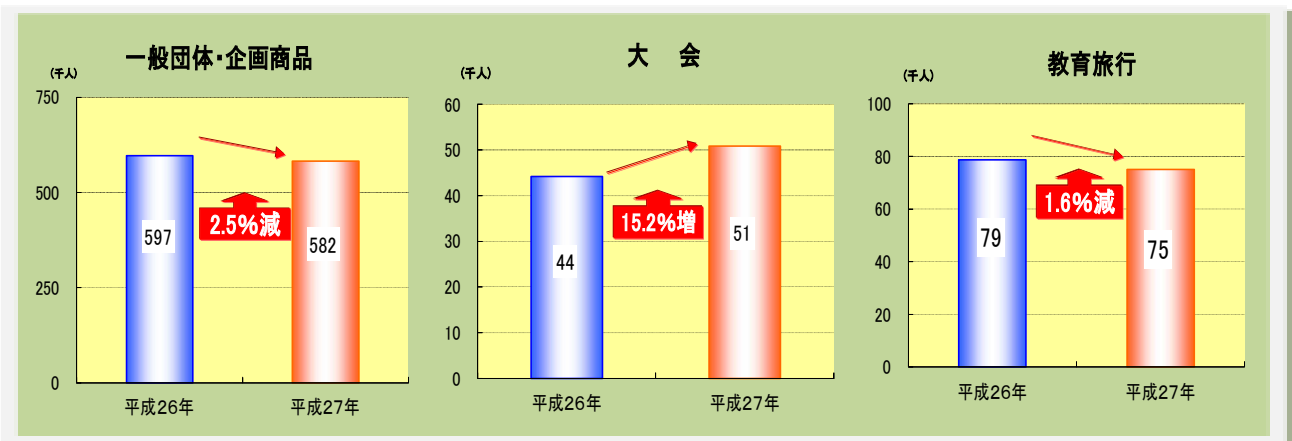
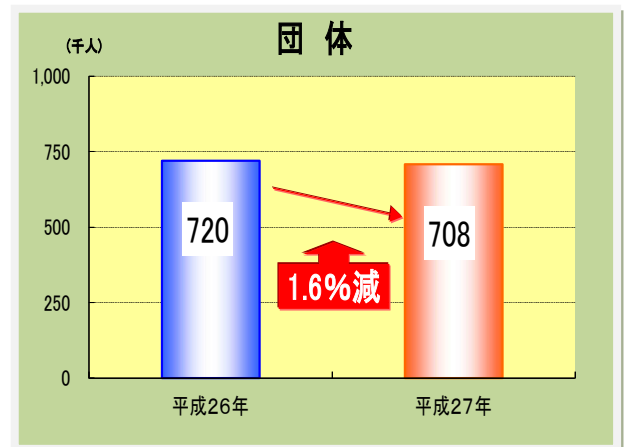
	宿泊客数	構成比
合計	2,824,269	
個人客(含む家族・小グループ)	2,116,221	(74.9)
団体客(15名以上)	708,131	
一般団体・企画商品	582,089	(20.6)
大会	50,872	(1.8)
教育旅行	75,170	(2.7)

注: 調査対象のうち回答があった施設の集計

個人



団体

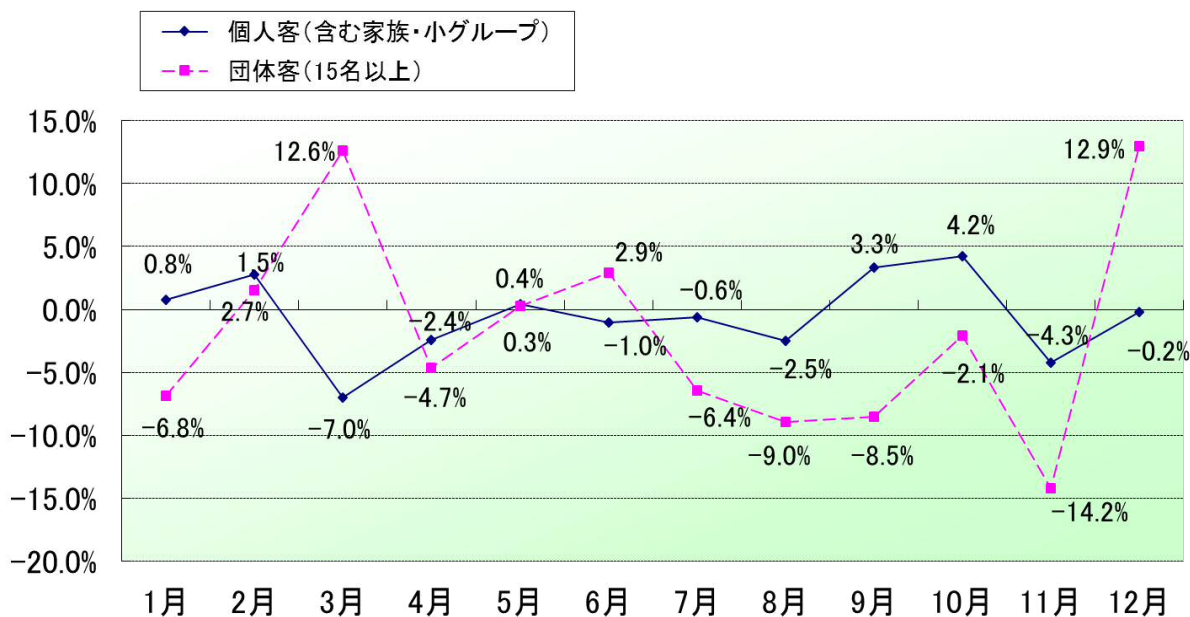


※1 調査対象のうち回答があった施設の集計

※2 平成26年の数値は、平成27年のサンプル施設数とベースを合わせているため、「平成26年鹿児島県観光統計」で公表した数値とは異なる。

3 鹿児島県観光動向調査

(4) 月別旅行形態の動向 (対前年同月比)



《個人客数》

(合計)

平成26年	155,556	145,506	218,368	167,340	187,554	140,969	171,214	247,241	172,430	176,204	182,175	168,484	2,133,041
平成27年	156,791	149,500	203,117	163,293	188,315	139,544	170,184	241,008	178,195	183,690	174,429	168,155	2,116,221

単位:人

《団体客数》

(合計)

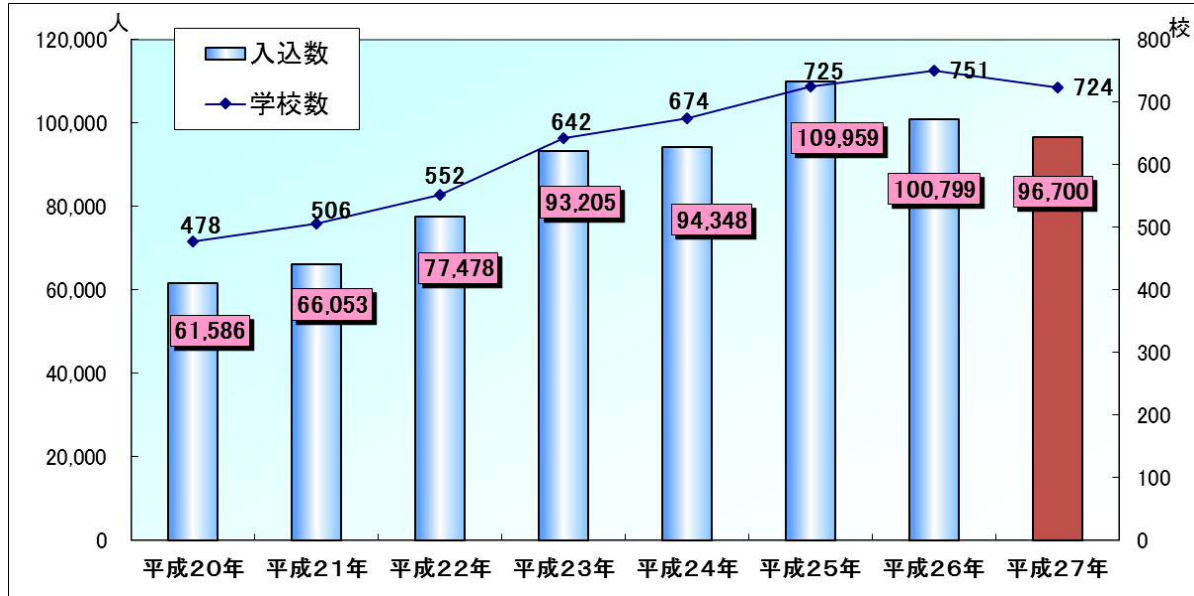
平成26年	45,669	60,212	76,073	59,869	68,345	58,138	38,747	41,408	54,093	73,373	89,091	54,608	719,626
平成27年	42,542	61,117	85,692	57,078	68,529	59,842	36,253	37,694	49,476	71,833	76,402	61,673	708,131

単位:人

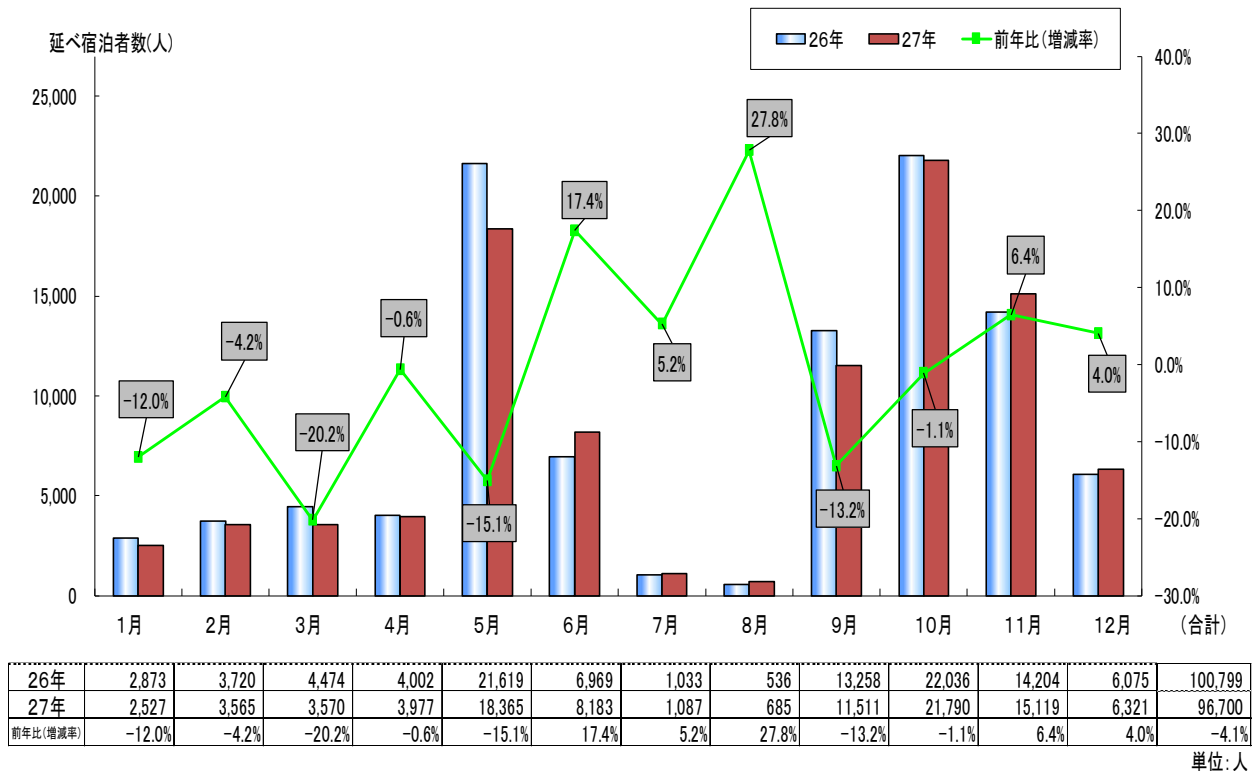
4 教育旅行の受入状況

出典：「平成27年鹿児島県修学旅行等入込状況調査」

(1) 鹿児島県全体の教育旅行の受入状況（過去の推移）

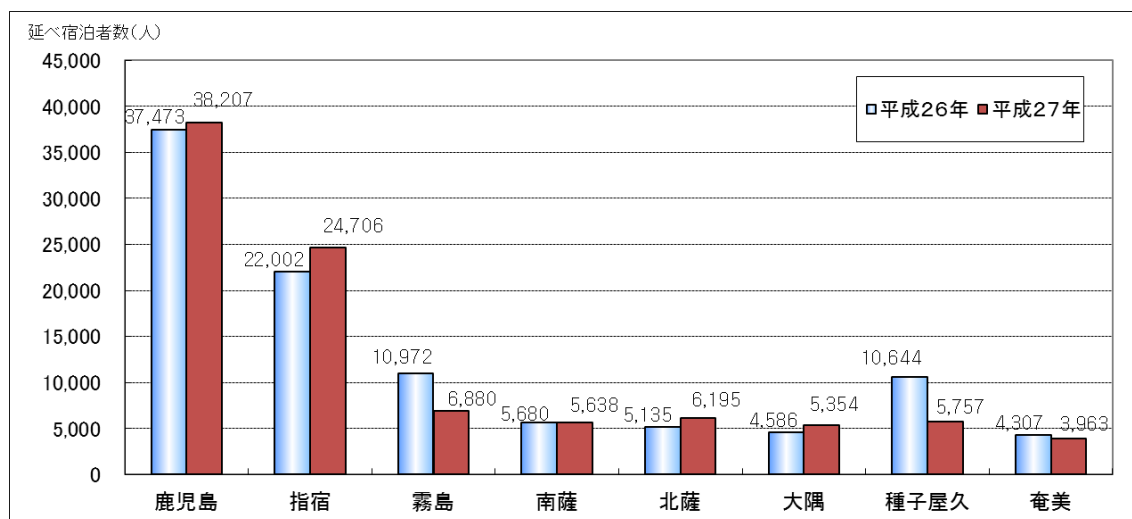


(2) 月別の教育旅行の受入状況（平成26年～平成27年）



4 教育旅行の受入状況

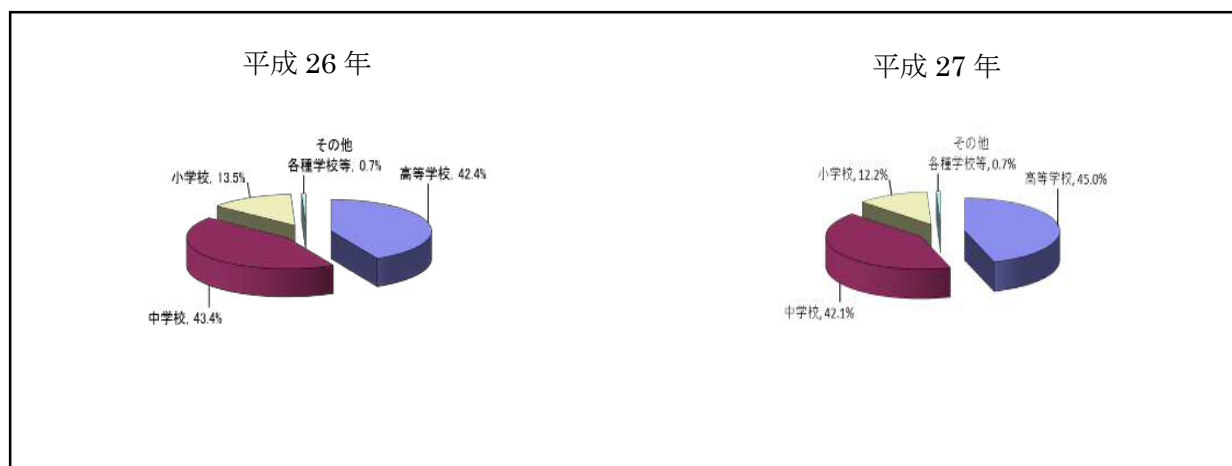
(3) 県内地区別の教育旅行の受入状況（平成26年～27年）



	鹿児島	指宿	霧島	南薩	北薩	大隅	種子屋久	奄美	合計
平成26年	37,473	22,002	10,972	5,680	5,135	4,586	10,644	4,307	100,799
平成27年	38,207	24,706	6,880	5,638	6,195	5,354	5,757	3,963	96,700
前年比(増減率)	2.0%	12.3%	-37.3%	-0.7%	20.6%	16.7%	-45.9%	-8.0%	-4.1%

単位：人

(4) 学校種別の構成比（平成27年対平成26年）

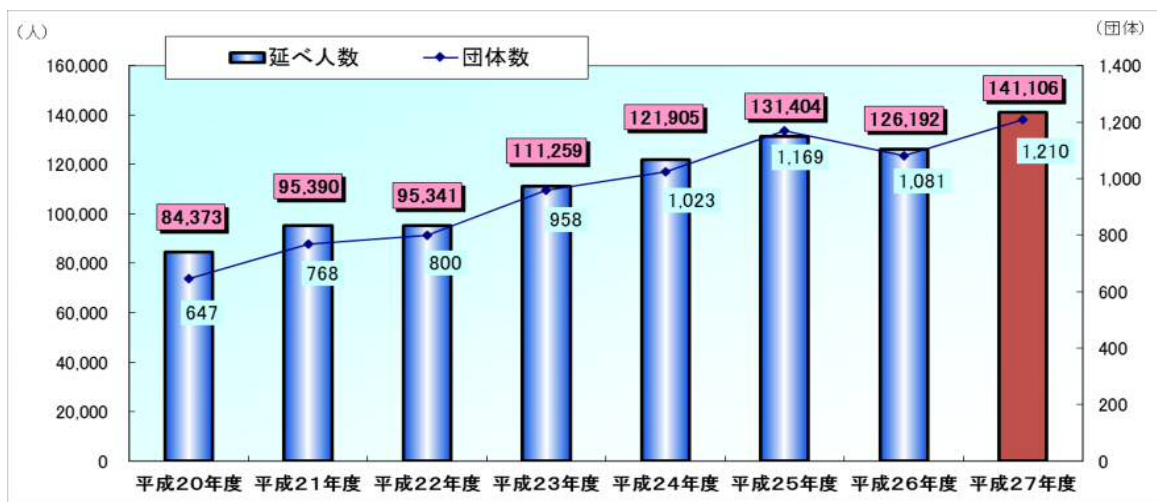


5 スポーツ合宿の受入状況

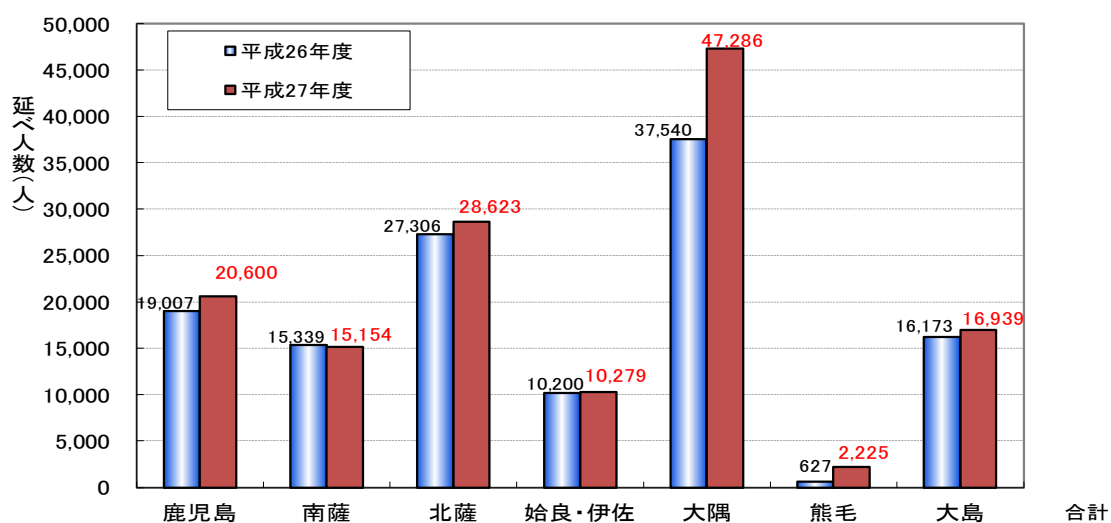
出典：「平成27年度スポーツキャンプ・合宿状況調査」

(1) 鹿児島県全体のスポーツ合宿の受入状況（推移）

	平成27年度	平成26年度	対前年度比	
			増減数	増減率
延べ人数(人)	141,106	126,192	14,914	11.8%
実人数(人)	31,464	26,695	4,769	17.9%
団体数(団体)	1,210	1,081	129	11.9%



(2) 県内地区別のスポーツ合宿の受入状況

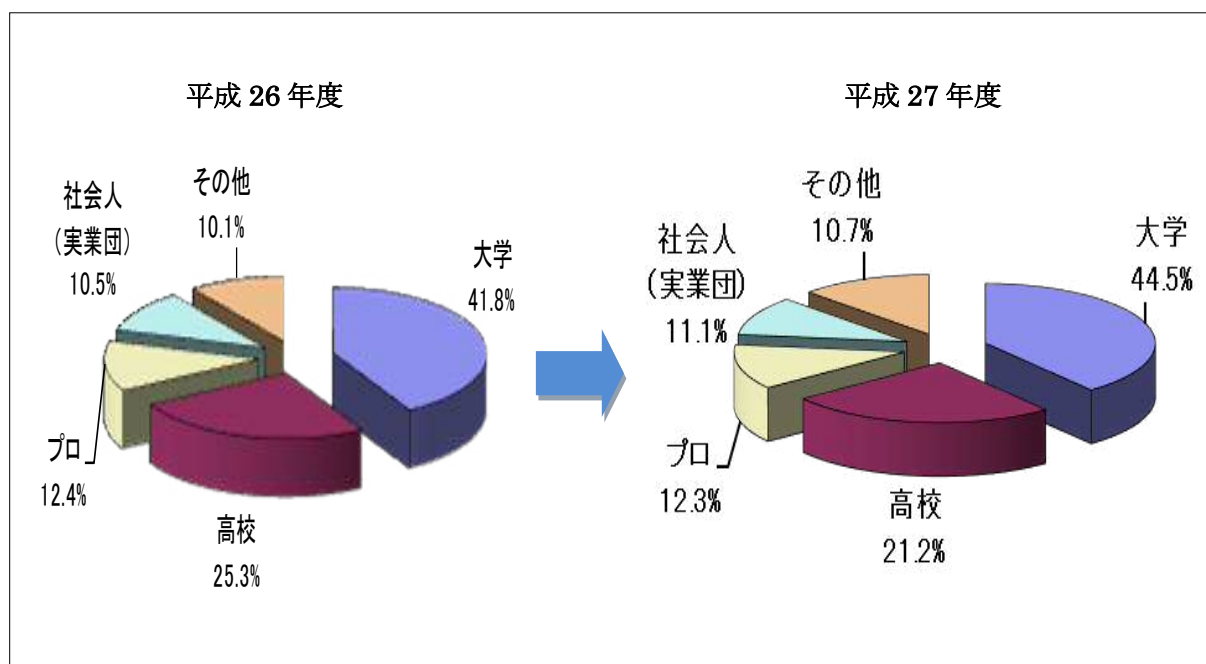


平成26年度	19,007	15,339	27,306	10,200	37,540	627	16,173	126,192
平成27年度	20,600	15,154	28,623	10,279	47,286	2,225	16,939	141,106
前年度比(増減率)	8.4%	-1.2%	4.8%	0.8%	26.0%	254.9%	4.7%	11.8%

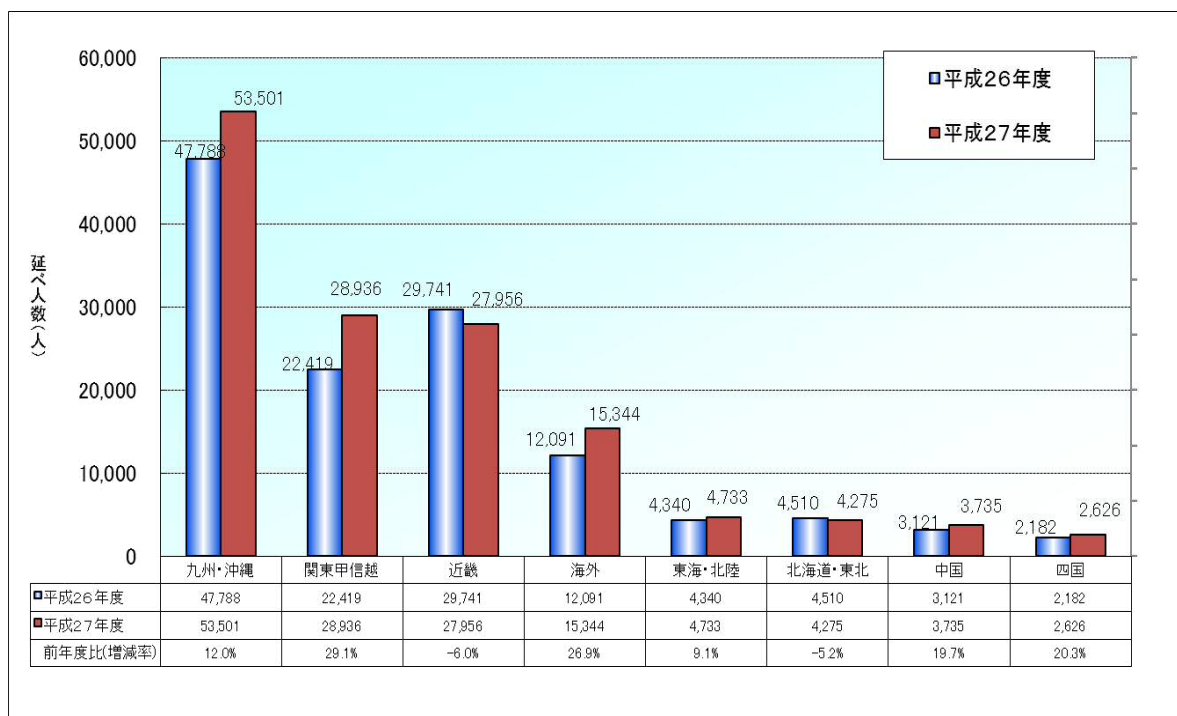
単位：人

5 スポーツ合宿の受入状況

(3) 団体区分（カテゴリー）の状況（構成比）

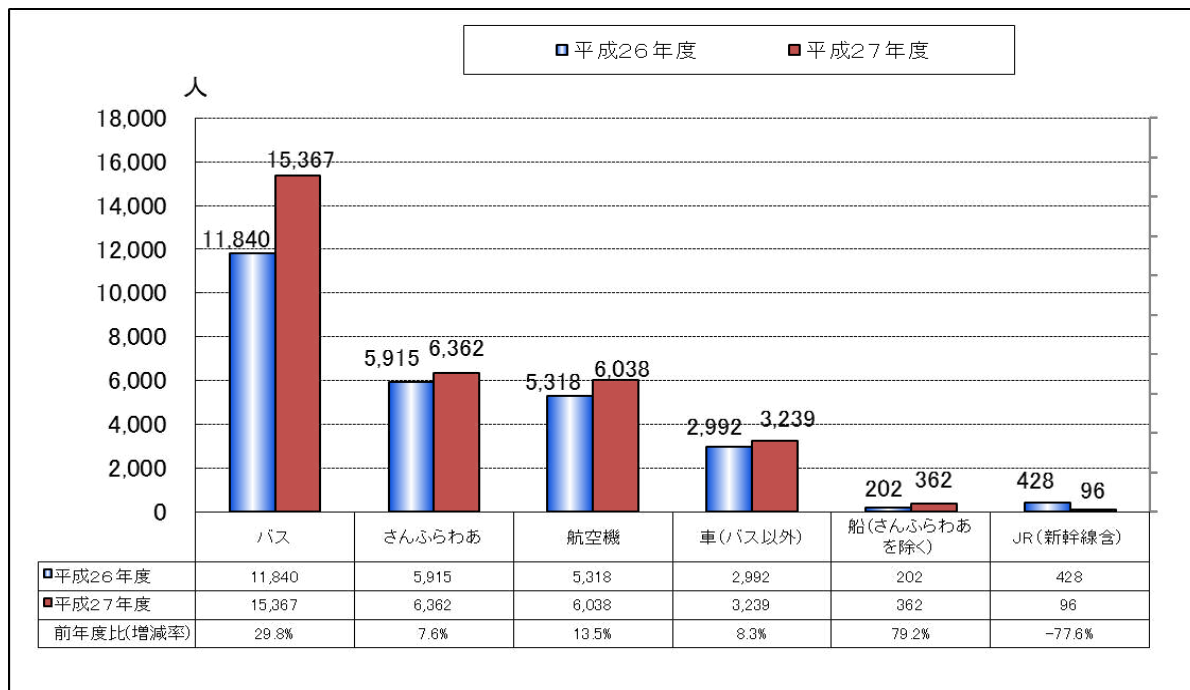


(4) 発地別の状況

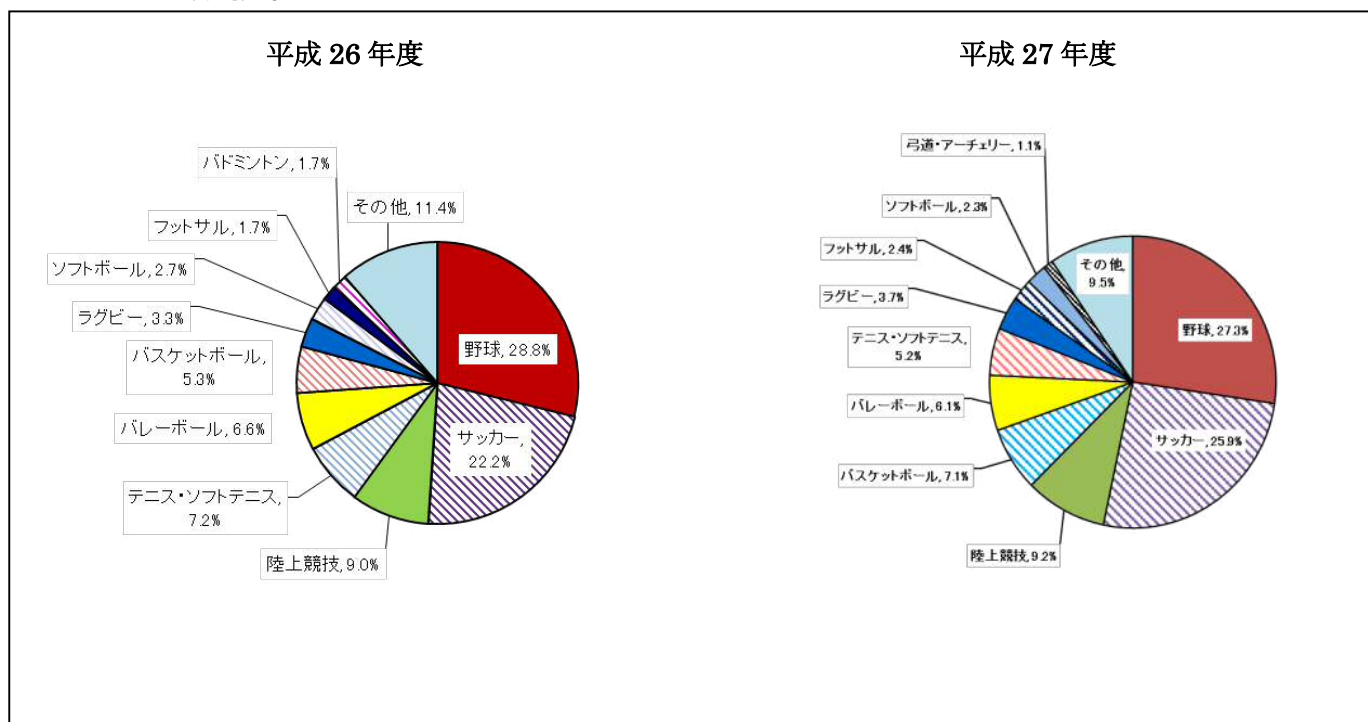


5 スポーツ合宿の受入状況

(5) 交通手段の状況



(6) 競技種目の状況



6 コンベンションの開催状況

【出典：県独自調査】

平成27年の県内のコンベンションの開催状況は、

- ・開催件数 217件（前年比11.4%減）
- ・参加者数 151,360人（前年比2.4%増）となった。

開催件数については減少したものの、国際規模の大会や全国規模の参加者の多い大会が多数開催により参加者数は増加した。大きな大会としては、平成27年は日本ジオパーク霧島大会や第48回日本薬剤師会学術集会などが開催された。

単位：件・人

	平成27年		平成26年		前年比(増減率)	
	件数	参加者	件数	参加者	件数	参加者
国際大会	6	3,075	1	170	500.0%	1708.8%
全国大会	88	78,285	85	74,327	3.5%	5.3%
その他	123	70,000	152	73,285	-19.1%	-4.5%
合計	217	151,360	245	147,782	-11.4%	2.4%

※開催状況については、各市町村及び鹿児島観光コンベンション協会へ照会を行った回答を、県観光課で取りまとめた。

※平成27年に開催された国民文化祭で開催されたイベントは、本表には入っていない。

※コンベンションの計上については、会議・研修・スポーツ大会等を対象として計上。県内参加者のみの規模のコンベンションは含まない。

7 国際観光船受入状況

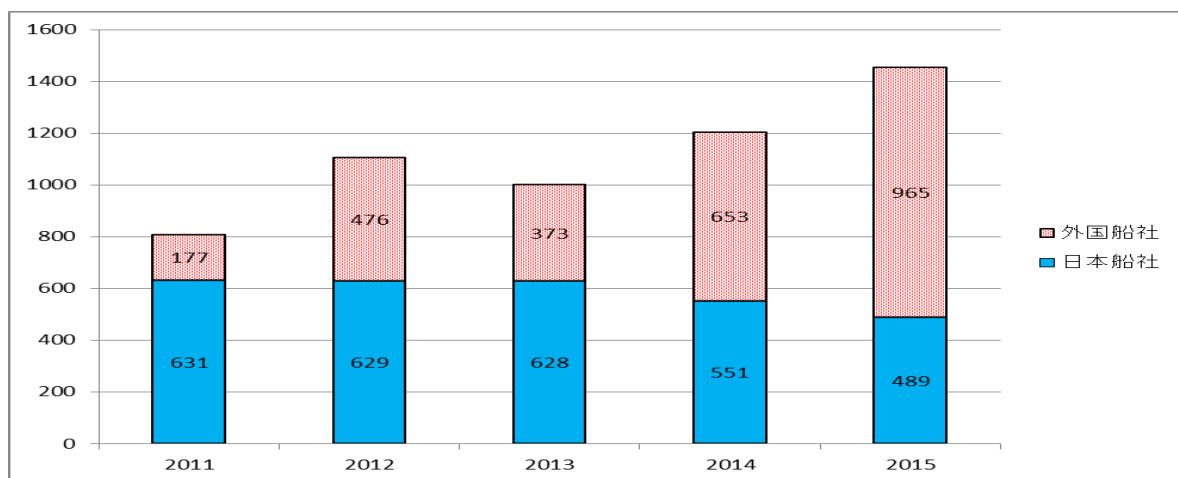
(1) 全国におけるクルーズ船の寄港状況 【出典：国土交通省港湾局】

2015年の我が国港湾へのクルーズ船の寄港回数は、

- ・外国船社のクルーズ船965回
- ・日本船社のクルーズ船489回

合計1,454回（前年比約20.8%増）となった。

図表1 2015年 過去5年間の我が国港湾へのクルーズ船寄港回数



図表2 2015年 港湾別のクルーズ船寄港回数（上位10港）

全体			外国船社			国内船社		
順位	港湾名	回数	順位	港湾名	回数	順位	港湾名	回数
1	博 多	259	1	博 多	245	1	横 浜	88
2	長 崎	131	2	長 崎	128	2	神 戸	55
3	横 浜	125	3	那 覇	105	3	名 古 屋	30
4	那 覇	115	4	石 垣	79	4	東 京	15
5	神 戸	97	5	鹿 児 島	51	5	博 多	14
6	石 垣	84	6	神 戸	42	6	宮 之 浦 (屋 久 島)	13
7	鹿 児 島	53	7	横 浜	37	7	仙 台 塩 釜	11
8	佐 世 保	36	8	佐 世 保	34	8	那 覇	10
9	名 古 屋	34	9	広 島	25	8	小 樽	10
10	広 島	32	10	大 阪	18	10	青 森	9
						10	秋 田	9

※ 昨年鹿児島は全体で9位(33回)

図表3 2009～2014年 外国港湾別のクルーズ船寄港回数（上位5港）

順位	2011年		2012年		2013年		2014年		2015年	
	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数	港湾名	回数
1	石 垣	42	博 多	85	石 垣	59	博 多	99	博 多	245
2	那 覇	37	長 崎	72	那 覇	41	長 崎	70	長 崎	128
3	博 多	26	那 覇	47	長 崎	35	石 垣	69	那 覇	105
4	長 崎	17	石 垣	46	横 浜	32	那 覇	68	石 垣	79
5	横 浜	9	鹿 児 島	27	博 多	19	横 浜	48	鹿 児 島	51

※鹿児島は6位(8回)

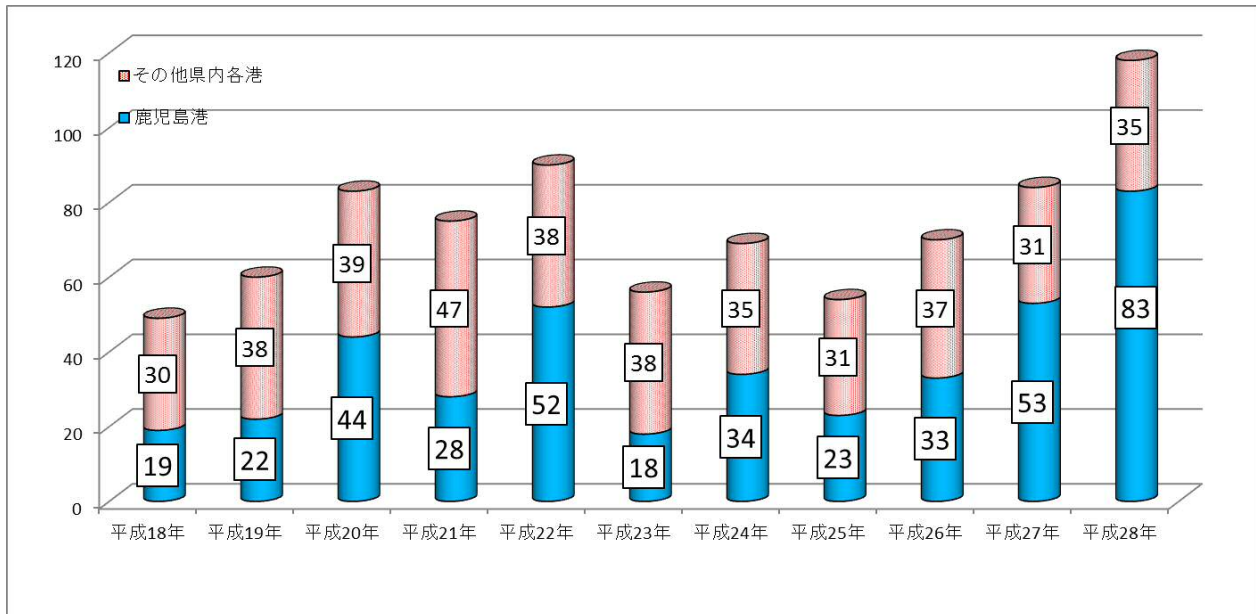
※鹿児島は8位(16回) ※鹿児島は8位(29回)

7 国際観光船受入状況

(2) 鹿児島県におけるクルーズ船の寄港状況 【出典：県港湾空港課調べ】

※H28年10月19日現在

県内各港(計)	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28 (予定)	
		49	60	83	75	90	56	69	54	70	84	118
内 訳	鹿児島港	19	22	44	28	52	18	34	23	33	53	83
	志布志港				1				1			
	指宿港						1		1			1
	西之表港			2	4	2	2	1		2	2	5
	宮之浦港	20	26	22	26	25	23	15	17	16	19	19
	名瀬港	6	4	5	11	4	4	9	7	13	6	6
	その他	4	8	10	5	7	8	10	6	5	4	4



本物。 鹿児島県

平成 27 年 鹿児島県の観光の動向
～鹿児島県観光統計～

発行 平成 28 年 10 月

編集・発行 鹿児島県観光交流局観光課

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町 10 番 1 号

TEL 099-286-3008

FAX 099-286-5580

E-mail k-kokunai@pref.kagoshima.lg.jp

[http://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodo/
kanko-tokusan/kanko/kankotokei/](http://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodo/kanko-tokusan/kanko/kankotokei/)

観光かごしま

検索

